

平成17年度（2005年度）

日田市埋蔵文化財年報



平成17年度（2005年度）
日田市埋蔵文化財年報

発行日 平成19年3月30日
編集 日田市埋蔵文化財センター
日田市教育委員会文化財保護課
〒877-0077
大分県日田市南友田町516-1
TEL 0973-24-7171
発行 日田市教育委員会
〒877-8601
大分県日田市田島2-6-1
TEL 0973-23-3111
印刷 カワハラ企画
大分県日田市水目町315-4

発刊にあたって

平成17年3月22日、日田市と旧日田郡の天瀬町、大山町、上津江村、中津江村、前津江村の1市2町3村は合併をし、新たな日田市として出発致しました。

また、それまでの文化課も、平成17年度からは文化財保護課へと変わり、新たな体制となり、今までと同様の埋蔵文化財の保護活動を、合併により広がった広大な範囲に対しても行っていくこととなりました。

本書は合併後の新たな体制のもとで実施された埋蔵文化財の保護活動を記録した最初の報告となります。少しずつですが、発掘調査や普及・啓発の面においても旧郡部での事業や活動が見て取れるかと思えます。今後も、新日田市域全体の方々に埋蔵文化財というものをよりよく理解して頂けるよう、普及・啓発活動の一層の充実を図っていき、その周知に努め、埋蔵文化財の発掘調査事業等を進めていきたいと考えております。

最後になりましたが、この1年間日田市の埋蔵文化財調査および普及・啓発に多大なご指導・ご協力を賜りました関係者の皆様方に、心よりお礼を申し上げます。

平成19年3月

日田市埋蔵文化財センター施設長

日田市教育庁文化財保護課長 後藤 清

例言

1. 本書は、平成17年度に日田市教育委員会が行った埋蔵文化財保護事業の概要をまとめたものである。
2. 本書には、別府大学文学部文化財学科が行なった古墳の測量調査の内容についても併せて掲載している。
3. 本書には、平成16年度に実施した隈山古墳の緊急調査の内容についても併せて掲載している。
4. 発掘調査における遺物・図面・写真類等の資料については、日田市埋蔵文化財センターにて保管・展示している。
5. 表3・4における「詳細地図番号」は日田市作成「1/2,500都市計画基本図」および大分県作成「1/5,000大分県森林基本図」、「住宅地図」をもとに作成し、センターにて保管している。
6. 受領図書は平成17年4月1日～平成18年3月31日の間に日田市教育委員会に寄贈された書物を掲載し、併せて日田市立博物館あての書物も掲載した。
7. 受領図書一覧表の作成では、伊藤一美氏の協力を得た。
8. 表紙写真は、中川原遺跡4号中世墓と同1号中世墓出土の念珠である。(本文P8参照)。
9. 平成17年度の埋蔵文化財調査担当は、土居和幸・今田秀樹・行時桂子・若杉竜太・渡邊隆行・矢羽田幸宏、普及啓発事業担当は中村邦宏である。
10. 本書の執筆はI-2)及びIIを各担当者が行ったほかは、今田が行い、文責を末尾に記している。なお、護願寺古墳・城山古墳に関しては、別府大学文学部 下村智教授・同大学文化財研究所 玉川剛司研究員に執筆して頂いた。
11. 編集は各担当者の協力の下、今田が行った。

目次

発刊にあたって	
I 平成17年度の埋蔵文化財調査事業	1
1) 平成17年度埋蔵文化財調査の概要	1
2) 発掘調査・確認調査の概要	4
3) 試掘調査・立会調査・照会の概要	15
II 埋蔵文化財普及・啓発事業	16
1) 埋蔵文化財センター運営事業	16
2) 埋蔵文化財の普及・啓発活動	17
3) その他	19
III 受領図書一覧	20

I 平成17年度の埋蔵文化財調査事業

1) 平成17年度埋蔵文化財調査の概要

平成17年度の発掘調査等の動向（表1）

平成17年度は公共事業・民間開発に伴う埋蔵文化財包蔵地の事前照会件数は83件、このうち試掘・立会調査を行ったものは36件、発掘調査を行ったものは11件であった。

発掘調査は民間開発に伴うものが5件で、その原因は分譲住宅造成に伴うものが4件、鉄塔建設が1件であった。県公共事業に伴う発掘調査は農業基盤整備事業に伴う町ノ坪遺跡D区、求来里平島遺跡E・F区、中川原遺跡2次の3件で、市の公共事業に伴う発掘調査は小学校のグラウンド改修に伴う中川原遺跡の1件であった。そのほか、史跡整備に伴う事前確認を目的としたガランドヤ古墳、市教委が地元の方を協力するという形で掘り下げ・実測を行った筑後軌道跡の2件の確認調査を実施した。また、別府大学文学部文化財学科により市内の古墳2件の測量調査が実施されている。

前年度と比較した全体的な傾向としては、事前照会審査件数が1.5倍以上に増加し、それに伴い試掘・立会調査件数も増加しているものの、発掘調査件数は前年度から横這いである。公共事業に伴う開発件数は増減を繰り返しながらほぼ水平傾向を示しており、民間の開発件数は、平成10年度前後を中心とした増加傾向に若干落ち着きが見られていたものの、当年度は大幅に増加していることが見て取れる。市町村合併の影響も少なからず含まれているものと想像される。この民間開発に伴う照会件数の増加は、今後もある程度は続くものと予測される。これに対応するためにも、本市での調査体制の整備、職員の資質の向上、作業の効率化など、多くの課題が提起されるものと考えられる。

平成17年度の発掘調査の内容（表2）

本年度は旧石器時代を中心とする調査例はなく、縄文時代から中世にいたる遺跡の調査を行っている。さらには、確認ではあるものの筑後軌道のような近代のものについても調査が行われている。

縄文時代の調査としては町ノ坪遺跡D区において後期後葉の遺物包含層が確認され、多くの土器や石器が出土している。また、本格的な調査が次年度となる中川原遺跡2次においては、前期や後期の遺物が多く検出されており、前期以降の遺物包含層の存在が想定される。この他、長者原遺跡6次・瀧ヶ本遺跡・中川原遺跡においても少量であるが縄文土器等が出土している。

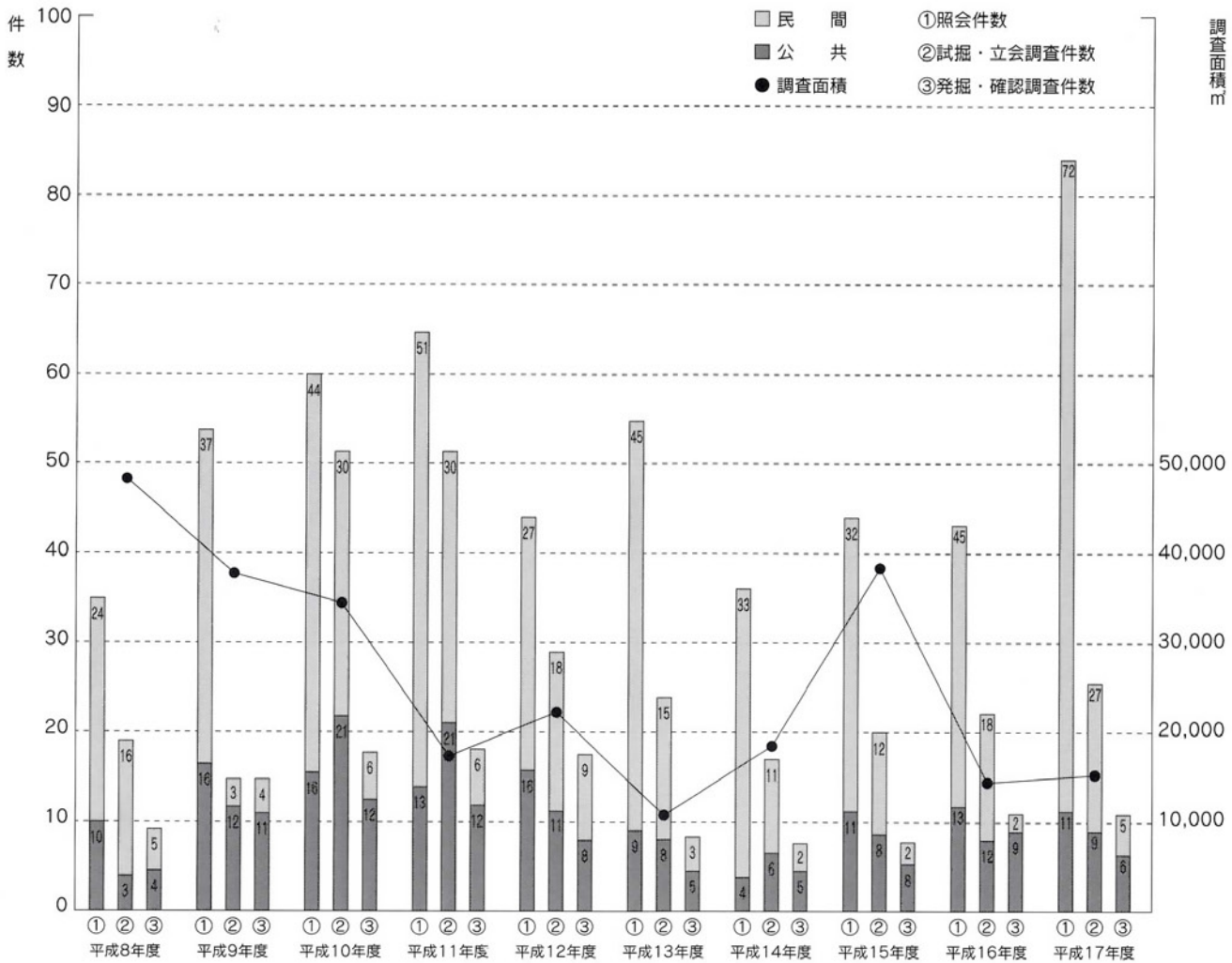
弥生時代の調査では、いくつかの集落の一端を垣間見ることが出来ている。中川原遺跡において後期前半頃とみられる竪穴住居跡が確認されたほか、同時期とみられる石棺墓、さらに石棺墓と近い時期とみられる木棺墓や土壇墓なども確認されている。町ノ坪遺跡D区や一丁田遺跡では後期以降の竪穴住居跡が確認されている。また、中川原遺跡2次においても弥生時代後期の遺物を含む竪穴遺構が検出されており、今後の調査に期待がかかっている。この他、大波羅遺跡4次や瀧ヶ本遺跡・長者原遺跡6次などにおいても弥生時代の遺物が確認されており、周辺に存在するであろうその時期の集落などを窺うことが出来ている。

古墳時代の調査としては、ガランドヤ古墳で1号墳の周溝および前庭部の確認が行われ、周溝は確認できなかったものの、前庭部の規模が判明している。求来里地区においては、町ノ坪遺跡D区で中期、求来里平島遺跡で後期から終末期にかけての集落が確認され、土地利用の変遷を知る上での好資料を得ることが出来ている。また、一丁田遺跡では初頭および後期の竪穴住居跡が確認されている。この他、瀧ヶ本遺跡・長者原遺跡6次などにおいても古墳時代の遺物が確認されている。

古代の調査では、町ノ坪遺跡D区で竪穴住居跡が1軒確認されたほか、求来里平島遺跡F区でその時期とみられる掘立柱建物が検出されている。また、大波羅遺跡4次では、確認された遺構からの出土遺物が少なかったものの、古代と想定される。

中世の調査では、上井手遺跡において、多数の柱穴群、溝跡や土坑などが確認されている。上井手遺跡周辺は、11世紀以降に開発された「竹田別符」の推定地でもあることから、今回確認された集落との関連が想定されている。中川原遺跡では4基の土壇墓が確認され、これら墓の中からは人骨とともにガラス製とみられる念珠が出土している。

表1 埋蔵文化財の調査件数および調査担当者の推移



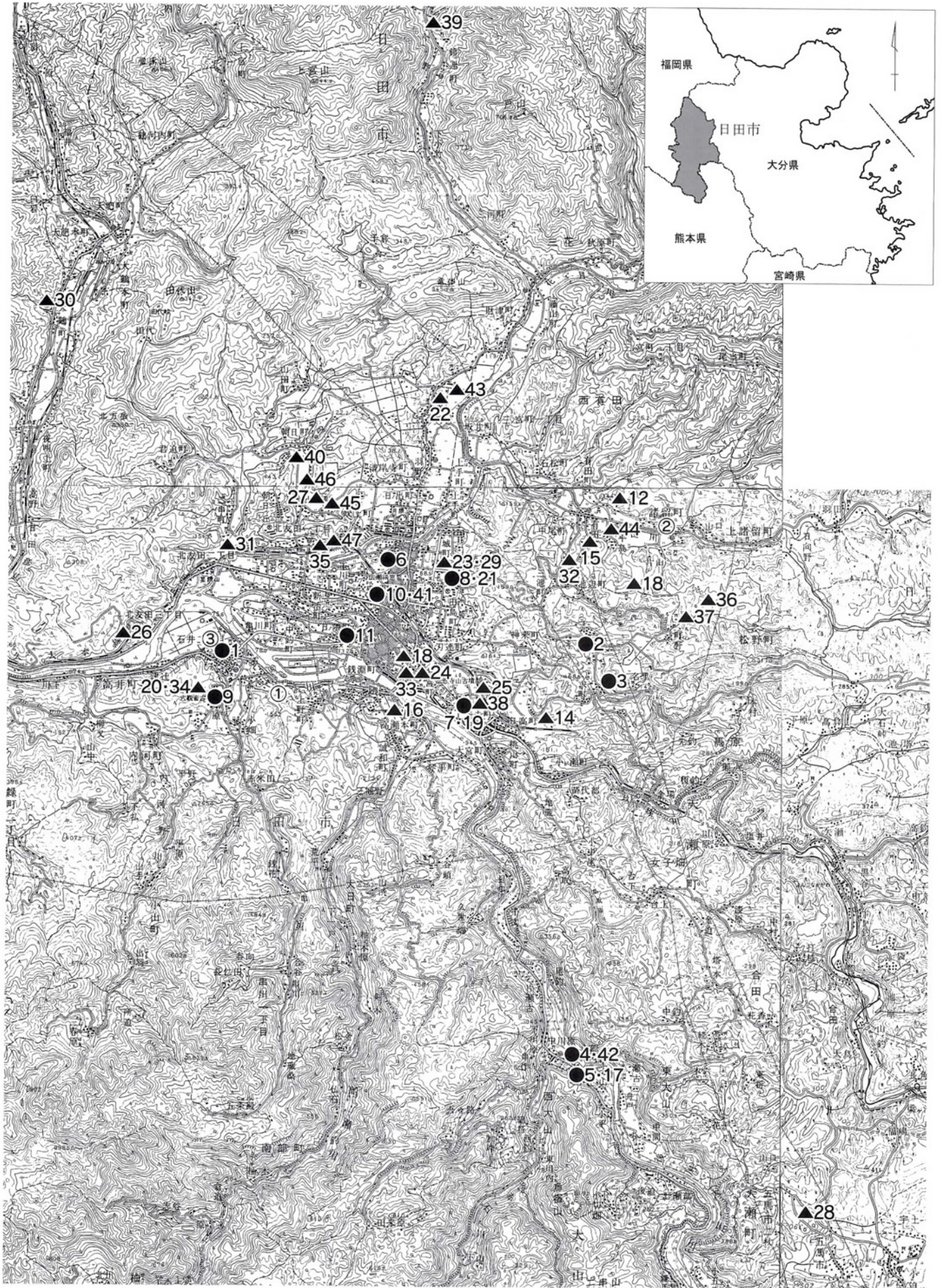
	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
専門職員数	4	5	3 (4)	4	3 (4)	4	4	4	4	6
嘱託職員数	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0
調査面積	38,343	37,510	33,846	16,794	21,254	10,552	18,663	38,827	13,309	15,736

面積単位：m²

表2 平成17年度発掘・確認調査一覧表

面積単位：m²

番号	遺跡名	所在地	事業主体	調査原因	開発面積	調査面積	調査年月日	費用負担	調査担当者	備考
1	史跡ガランドヤ古墳	石井字尾園1180-3他	公共	確認調査	—	60	0112~0324	国庫補助	土居	
2	町ノ坪遺跡D区	求来里字町ノ坪1548-4他	公共	圃場整備	45,000	4,500	0426~0919	原因者	今田・若杉・渡邊	前年度継続
3	求来里平島遺跡E・F区	求来里字着来905他	公共	圃場整備	45,000	3,400	1121~0324	原因者	若杉	
4	中川原遺跡2次	大山町西大山3456-1他	公共	圃場整備	30,000	6,400	0313~0329	原因者	今田	次年度継続
5	中川原遺跡	大山町西大山3494-1他	公共	グラウンド改修	4,075	300	1003~1209	原因者	行時	
6	一丁田遺跡	港町506他	民間	分譲宅地	1,750	330	0427~0524	原因者	渡邊・矢羽田	
7	上井手遺跡	日高町字其田918-1他	民間	分譲宅地	1,606	131	0630~0802	原因者	若杉・矢羽田	
8	大波羅遺跡4次	上城内町1116-1	民間	分譲宅地	3,001	360	0912~0920	原因者	渡邊・若杉・矢羽田	
9	長者原遺跡6次	小山字沖原192-1	民間	鉄塔建設	110	110	0123~0313	原因者	渡邊	
10	瀧ヶ本遺跡	三本松新町751-9他	民間	分譲宅地	1,887	140	0201~0304	原因者	矢羽田・行時	
11	筑後軌道	庄手字川原端987他	—	確認調査	—	5	0623	—	土居・行時・若杉・渡邊・矢羽田	



● 発掘調査 ▲ 試掘・立会調査 ①～③測量調査ほか (P12～14)

平成17年度発掘調査位置図 (1/75,000)

2) 発掘調査・確認調査の概要

1. 史跡ガランドヤ古墳2次

一史跡整備に伴う範囲確認調査一

ガランドヤ古墳は日田盆地西部の筑後川左岸の河岸段丘上に営まれた3基の古墳で構成される。東から3・1・2号墳の順に並列して立地しており、このうち1・2号墳は装飾古墳として知られ、昭和59・60年度の1次調査では新たな壁画の発見や多くの副葬遺物が発見されている。また、装飾古墳としては珍しく近接して2基存在することや年代を決める手がかりとなる副葬品の残りがよく、加えて2号墳にみられる赤地に緑の顔料による絵画手法といった特徴を有することから、平成5年に国史跡の指定を受けている。

今回の確認調査は古墳の保存整備を目指した保存整備事業の一環として実施しているもので、昨年度に引き続き1号墳の周溝と前庭部の確認に努めた。調査では3本（7～9トレンチ）のトレンチを設定し、その内容は次の通りである。

7トレンチは古墳南側（正面）に設定したもので、昨年度の2・3トレンチでは閉塞石や前庭部の一部が判明したので、今回はそのすぐ東側を拡張してその検出を行った。今回の調査によって前庭部の規模が長さ（南北）約5.1m、幅（東西）約4.5m、閉塞石の幅約1.5mであることがわかった。

8トレンチは古墳東側に設定した。周溝の確認を目的としたが、後世に大きく攪乱を受けているのでその存在を確認するまでには至らなかった。

9トレンチは古墳北側に設定した。ここでは周溝と古墳背後に残る土盛りマウンドかどうかの確認を目的とした。結果、周溝は確認できず、また土盛りも後世に盛られたものであることが判明した。

こうした調査と昨年度の調査結果から、1号墳の閉塞石から玄室奥壁までの長さが11.9mであることが判明し、また周溝については巡らせていないと判断される。

（土居）



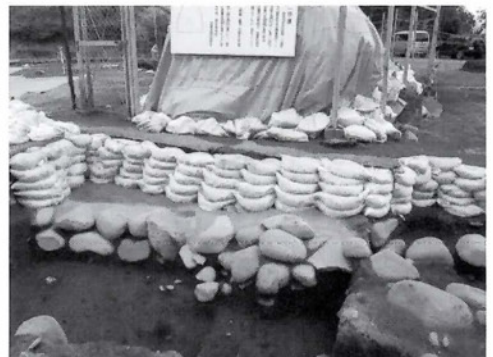
遺跡位置図 (1/5,000)



9トレンチ



前庭部



閉塞石及び列石



1号墳全景



7トレンチ

2. 町ノ坪遺跡D区

— 県営圃場整備事業求来里地区に伴う発掘調査 —

遺跡は、求来里川右岸の標高123～126mの沖積面に位置する。

今回のD区の調査では、調査区が3ヶ所に分かれていたことから、北側からD1区・D2区・D3区とした。

D1区及びD3区では、33軒もの竪穴住居跡のほか、多数の土坑やピットなどの遺構が確認された。

竪穴住居跡は、弥生時代後期のもの8軒、古代の所産とみられるもの1軒のほかは古墳時代中期のものともみられる。

弥生時代後期の竪穴住居跡はベッド状遺構を持つものであり、中には張出し部を持つものもみられる。炉は地床炉である。

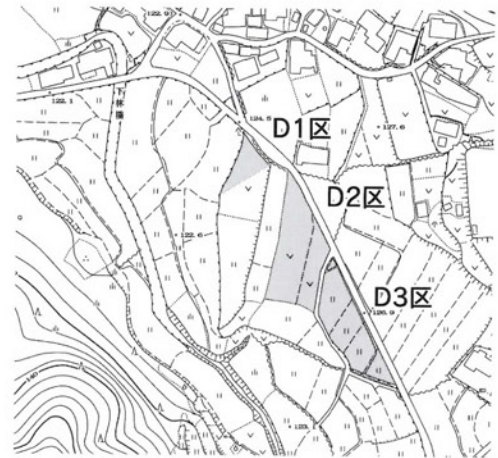
古墳時代中期の竪穴住居跡には、ほとんどカマドが有り、その中には須恵器を持つものもみられた。さらに、その多くは重複し合って確認されたことから、住居の構造や当該期の遺物の変遷などを考える上で貴重な資料となろう。また、これら住居跡からは、住居およびカマドを廃棄する際の祭祀に用いられたとみられる土器等が多く出土しており、当時の人々の祈りなどを窺い知ることの出来る資料であると言える。

古代のものともみられる竪穴住居は、3m×3mとその規模は小さいものであった。遺存状況は悪かったもののカマドとみられる痕跡は把握することが出来た。

D1区とD3区の間低地に位置するD2区では、縄文時代後期と弥生時代中期の遺物包含層が確認された。中でも縄文時代後期の遺物包含層は良好であり、多くの縄文土器や石器が出土した。縄文土器は、後期後葉のいわゆる三万田式土器の古手に当たるものであり、特筆すべき遺物として「X」字型石器の出土が挙げられよう。これら豊富な縄文時代遺物は、遺跡地周辺に存在したであろう当該期の集落の存在を窺わせるものである。

この町ノ坪遺跡では、今回までの調査（A～D区）で後期旧石器時代から近世以降にかけての多くの遺構や遺物を確認することが出来ている。今後の整理作業の進展により、各時代の様相はもとより、時代を通しての土地利用のあり方の変化など、多くのことがみえてこよう。

（今田）



遺跡位置図 (1/5,000)



縄文土器出土状況 (D2区)



竪穴住居発掘状況 (D1区)



D3区全景



竪穴住居発掘状況 (D3区)

3. 求来里平島遺跡 E・F区

—県営圃場整備事業求来里地区に伴う発掘調査—

求来里平島遺跡は、求来里川流域に位置し、E区（調査面積608㎡）は西側の元宮台地から派生した標高約135mの低丘陵上に、F区（調査面積2,845㎡）はE区より約100m南東側の標高約130mの沖積面に位置する。平成5年に行った広域農道建設に伴うA～C区の調査では縄文時代後期末の竪穴住居や古墳時代中期のカマド出現期の集落が確認されている。また、平成15・16年に行った市道建設に伴うD区の調査では古墳時代後期の集落などが確認されている。この他、下流域には、弥生時代中期～古墳時代後期を中心とした集落が確認された、町ノ坪遺跡・金田遺跡・小西遺跡などがある。

E区の調査では隣接するB・C区の調査結果から竪穴住居などが確認されることを予想していたが、表土剥ぎを行った結果、既に大きく削平を受けており、明確な遺構の確認はできなかった。

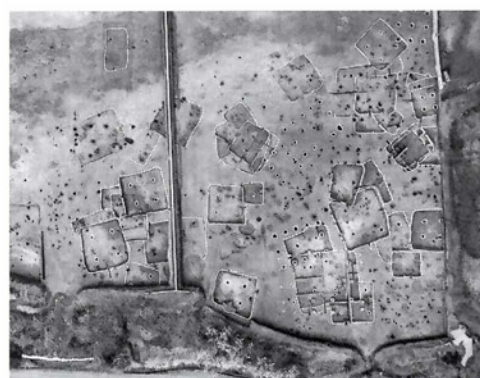
F区の調査では、調査区の東側を中心に竪穴住居や掘立柱建物、土坑が確認された。

竪穴住居は約40軒確認され、その時期は古墳時代後期～終末期に属する。須恵器編年でみれば、TK23～TK217の時期幅に収まり、その中心は6世紀後半である。本遺跡のA～C区や求来里川下流に位置する町ノ坪遺跡、金田遺跡ではカマド導入期の5世紀代の住居が多数確認されている。今回の調査では、この時期の住居は確認できなかったことから、後期になり、生活域が川の上流へと拡大していったことを示しているといえる。

また、これら竪穴住居の数軒と軸を同じくする2間×3間、2間×4間の掘立柱建物が確認された。これらの建物は倉庫とみられ、集落内の配置を考える上でも重要な資料といえる。



遺跡位置図 (1/5,000)



住居跡群



竪穴住居発掘状況 (西から)



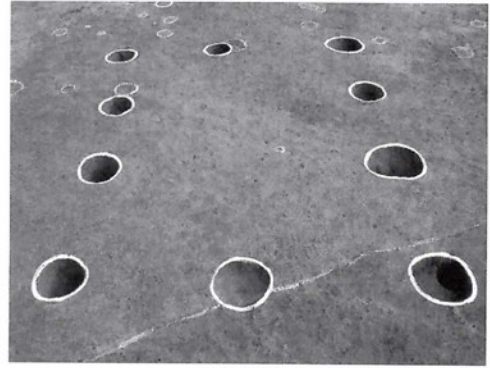
カマド発掘状況 (南から)



遺跡全景 (東から)

この他、6世紀後半の竪穴住居を切る2間×2間の総柱の掘立柱建物や中世の四面底をもつ2間×3間の掘立柱建物が確認された。詳細な時期の検討は、今後の整理段階で行わなければならないが、古代・中世においても、古墳時代後期に比べ、規模は縮小しているとはいえ、断続的に集落が存在していたことが窺える。

求来里川流域ではこれまで多くの調査が行われてきており、縄文時代から近世にいたる生活の痕跡が確認されている。特に弥生時代中期末以降、近世までは規模の大小はありながらも継続的に集落が営まれていることがわかっている。それぞれの遺跡での空白時期を別の遺跡が埋めるといった状況がみてとれ、流域全体での集落変遷や開発の様相を把握することが今後の重要な検討課題である。
(若杉)



建物跡1



建物跡2

4. 中川原遺跡2次

— 県営中山間地域総合整備事業大山地区に伴う発掘調査 —

遺跡は、大山川左岸、標高130m前後の微高地上に位置している。今回の調査では、事前の確認調査などにより囲むことの出来た約6,400㎡を、その対象範囲としている。

17年度の調査は、対象範囲のうち進入可能な範囲約1,600㎡のみについて行なうこととした。

調査では、複数の土坑や竪穴とともに多数のピットが検出された。今回は調査期間も短かったため、表土除去出来た範囲の遺構検出作業を中心に行ない、複数確認された樹木倒壊痕と一部土坑やピットの掘下げを行なった。樹木倒壊痕からは、縄文前期以降の複数時期の遺物が確認された。完掘はしていないが土坑には、縄文時代後期の遺物が出土しているものもみられる。ピットはきれいに並ぶものもあり、掘立柱建物の柱穴の可能性が高いものも多いようである。また、掘下げは行なっていないが、竪穴においては、その検出時に多量の弥生時代後期の遺物が含まれていることが把握されているものや、カマドとみられる痕跡が付されているものなどが確認されている。

調査は次年度継続となるが、いずれにしても当地域の先史・古代の様相を解明する上で、その成果は重要な材料となつてこよう。
(今田)



作業風景

5. 中川原遺跡

—大山小学校グラウンド改修に伴う発掘調査—

遺跡は阿蘇を源として北流する大山川の左岸、標高135m前後の、急峻な地形の多い大山川沿岸では比較的大きな沖積地に位置する。調査の対象となった大山小学校庭ではかつて工事の際に数基の石棺墓が見つかり、また周辺では工場建設の際に環濠集落とも考えられる弥生時代中期の溝や包含層が見つかるなど、弥生時代の遺跡の存在が以前から知られていた地域である。

今回の調査では竪穴住居3軒・石棺墓3基、木棺墓1基、土壇墓7基が検出され、土壇墓については埋土の状況やプランの違いなどから2時期に分かれることが判明した。

竪穴住居のうち1軒では一辺約4mと推定される隅丸方形のプランから主柱穴・炉跡が確認され、弥生時代後期前半頃の土器が出土しており、他2軒もほぼ同時期と捉えることができる。

石棺墓のうち2基では棺材として安山岩の板石が使用され、保存状態は悪いものの、成人の人骨が残存していた。棺内出土の土器片から、弥生時代後期前半以降と考えられる。木棺墓とそれに隣接する土壇墓3基についても、主軸方向の石棺墓との近似性から、石棺墓とさほどかけ離れた時期ではないであろう。

また残る土壇墓4基には人骨が残存しており、①土葬で頭北面西の側臥屈葬が行われ、②手元付近から念珠が出土するという共通点がある。さらにそれぞれが8m程度の距離を等しく保って存在することから、長期にわたる埋葬の結果というよりも比較的短期間のうちに形成された墓地と考えられ、また墓標や盛土などの表面施設の存在を想起させる。これらの詳細な時期は不明であるが、仏教思想を反映する念珠の存在から、古くとも中世以降のものと考えられる。なお検出された人骨は、保存状態は不良であるが残存部位は比較的多く、分析により成人女性・老年男性・熟年男性などであることが判明している。

念珠以外の副葬品を持たないため被葬者像は明らかにできないが、鎌倉新仏教の展開が大山にまで浸透していた様子が窺える。(行時)



空撮 (南から)



1号竪穴住居



2号石棺墓



3号中世墓

6. 一丁田遺跡

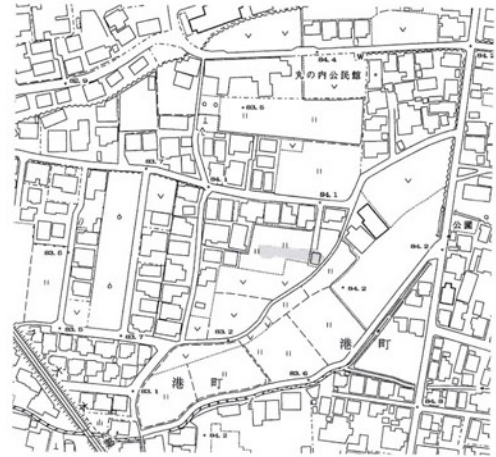
遺跡は日田盆地のほぼ中央の標高83mの沖積地に位置し、北に流れる花月川と南の旧河道とに挟まれた微高地に立地する。

調査では竪穴住居6軒、土坑1基、溝4条、掘立柱建物1棟、柱穴多数が確認された。これらの遺構は出土遺物から、弥生時代後期～古墳時代初頭、古墳時代後期、中世に比定される。

特に注目されるのが、弥生時代後期～古墳時代初頭の竪穴住居である。近年の調査成果により、盆地内の沖積地は川に近すぎて居住に適さないという従来の認識は変わってきている。しかし、本遺跡のように良好な資料が得られた例はこれまで少なく、弥生時代にはすでに川傍であっても氾濫を受けにくい微高地を居住区域としていた様子が明らかとなったことは、大きな成果であった。

また、古墳時代初頭の竪穴住居からは在地系のほか、畿内・山陰系統の外来的要素を持つ土師器が多く出土している。これまで外来系土師器は小迫辻原遺跡のほか、その周辺の本村遺跡や尾部田遺跡などで確認されていたが、拠点集落のみならず、周辺の小規模集落においても畿内系の文化が受容されていたことが想定される。(矢羽田)

一宅地造成に伴う発掘調査



遺跡位置図 (1/5,000)



2号住居跡

7. 上井手遺跡

遺跡は三隈川支流である中野川右岸の標高約90mの沖積地上に位置する。遺跡の北東約350mの独立丘陵上には、国指定史跡の装飾古墳を有する法恩寺山古墳群が所在する。

調査では、現地表面より約1.5m下の暗黄褐色砂層に掘り込まれた、溝2条、土坑7基、柱穴が多数確認された。

2条の溝は、調査区の南端で切り合って確認され、その北側に柱穴・土坑が集中して検出された。調査範囲が限られていたため、建物の確認を行うことはできなかったが、柱穴の検出状況から、多数の建物が存在していたと考えられる。これらの遺構からは、土師質土器杯・皿や同安窯系・龍泉窯系の青磁などが出土し、その時期は、14～15世紀の範疇に収まる。また、柱穴が溝付近で途切れていたことから、この溝には屋敷地の区画溝としての機能があったと考えられる。

遺跡周辺は11世紀以降に開発された竹田別符の推定地にあたり、今回確認された集落との関係を窺わせる。

また、本遺跡は氾濫を受けやすい、川に隣接する場所にも関わらず、建物群が存在する可能性があることは、当時の集落立地を考える上で重要な問題を提起したといえる。

この調査は中野川流域における最初の本格的な調査であり、その全容を解明するには至らなかったが、周辺における今後の調査の進展により、その様相が明らかになってくるであろう。(若杉)

一宅地造成に伴う発掘調査



遺跡位置図 (1/5,000)



遺跡全景 (北西から)

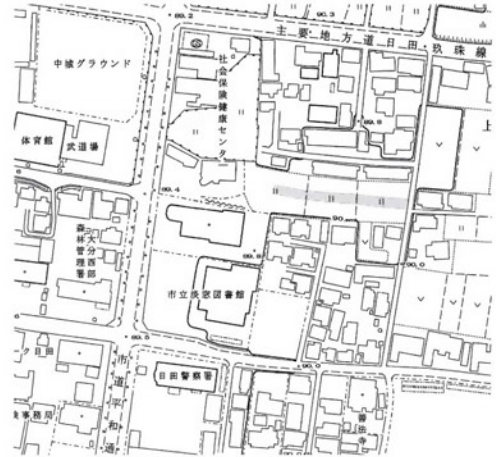
8. 大波羅遺跡4次

遺跡は日田盆地東部、標高約90mの沖積地に位置しており、今回の4次調査区は1次調査地点より200m程北側にあたる。調査では溝7条、掘立柱建物2棟、柱穴多数が確認された。

それぞれの遺構の時期については、年代を特定できる遺物の出土が少ないものの、概ね古代～中世の範疇に収まるものと考えられる。また、流路と想定される溝には弥生土器の混入が見られ、調査区周辺には弥生期の遺構が展開する可能性が高い。以上の調査結果から、調査区一帯に古代～中世にかけての集落が存在していたものと推定される。

近年この遺跡周辺において、各種の開発が行われ、なかでも調査区南側の1次調査地点では古代の墨書土器や瓦などの遺物を含む遺構、北側の慈眼山瀬戸口遺跡では墨書土器などの遺物や官人層の存在を伺わせる井戸などの遺構が発見され、古代日田郡の拠点となる施設の存在が想定されている。また、中世期には大蔵氏の居城跡である慈眼山が北側に聳え、その眼下に多数の中世集落の存在が確認されている。このような古代から中世の遺跡が密集する中であって、今回の調査結果はそれぞれの遺跡の広がりを検討する好資料と言える。(渡邊)

一分譲住宅造成に伴う発掘調査一



遺跡位置図 (1/5,000)



調査区遠景

9. 長者原遺跡6次

遺跡は日田盆地南西部、標高約118mの原と呼ばれる台地上に位置しており、調査区は台地の北東縁辺部にあたる。調査では溝2条、土坑10基、柱穴多数が確認された。

それぞれの遺構の時期は、出土した遺物から2号溝が古墳時代後期、その他の遺構については年代を特定できる遺物の出土が少ないものの、概ね弥生～古墳時代の範疇に収まるものと考えられる。また、風倒木痕からは縄文土器の混入が見られ、調査区周辺には縄文期の遺構が展開する可能性が高い。以上の調査結果から、台地崖付近まで弥生～古墳時代の集落が存在し、また縄文時代の生活遺構が展開していたものと推定される。

本調査区一帯の台地は、国指定史跡穴観音古墳、これまで5次の調査が行われた長者原遺跡や長者原田迎遺跡などが広範囲に所在するなど、市内でも有数の遺跡の密集地域である。このうち、調査区の西側に、穴観音古墳や長者原遺跡4次調査区石棺墓群などの墳墓群が展開しており、今回の調査で確認された6世紀代の生活遺構の存在は、墳墓群の被葬者集落が台地周辺に所在していたことを窺わせるなど注目される。(渡邊)

一鉄塔建設に伴う発掘調査一



遺跡位置図 (1/5,000)



調査区遠景

10. 瀧ヶ本遺跡

一宅地造成に伴う発掘調査一

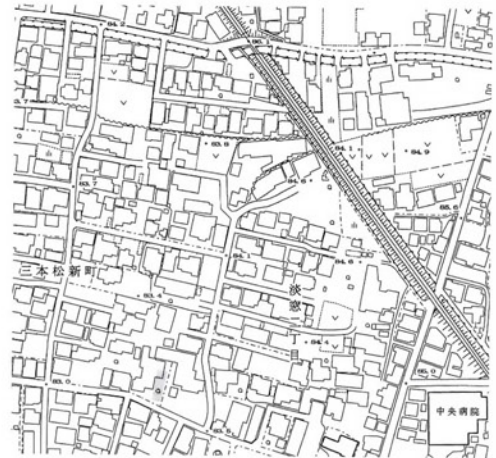
遺跡は日田盆地のほぼ中央の標高約82mの沖積地上に位置し、先述した一丁田遺跡の南西約400mに所在する。

調査では、縄文時代～古墳時代にかけての遺物包含層とそれより後の時代に掘り込まれた溝3条と少数の柱穴が見られた。

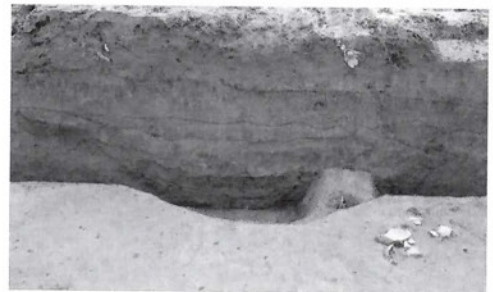
遺物包含層とそれに前後する時代は幾度も氾濫を受けた痕跡が顕著に見られ、複雑に堆積している。度重なる氾濫により、次第に土地が高くなっていく様子が看取され、包含層より後の時代には遺構が見られ、比較的安定した土地の利用が可能であったと考えられる。それぞれの遺構からは年代を特定できる遺物は出土していないが、層位的に古代～中世の範疇に取まると考えられる。また、溝の1条については、現在の地籍図中で「水路」と表記されている土地と一致することから、現在の地籍図が作成された近代かあるいはそれ以降にもこの溝が水路として利用されていたと考えられる。

今回の調査では、遺構・遺物共に少なく、遺跡の一端を検出したに過ぎないと思われ、はっきりとした遺跡の性格に言及することは難しい。しかしながら、未だ資料の少ない日田盆地の沖積地の旧地形と土地利用を考える上では、貴重な成果が得られたといえる。

(矢羽田)



遺跡位置図 (1/5,000)



1号土坑

11. 筑後軌道

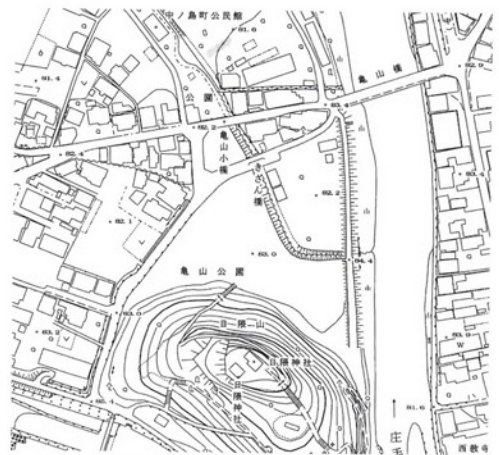
筑後軌道は明治36年の吉井―田主丸間で開通した筑後馬車鉄道（同40年に筑後軌道に改称）を皮切りに、順次路線を伸ばし、大正5年には日田―久留米間が全通した。総延長は約50kmに及び、当時の3フィート（914mm）ゲージ鉄道としては、全国最大の規模である。国鉄久大本線の開通後、昭和4年に廃止され、その役目を終えたが、当時の筑後川流域の経済発展に大きく寄与した鉄道である。

今回の調査は、市内中ノ島町で土地所有者の許可を受けた地元の方が、掘り下げを行い、軌道の石敷きが確認されたとの新聞報道に端を発する。担当者が現地へ赴き、本人の承諾を得た上で市教委が協力する形で、掘り下げ・実測を行った。その結果、軌道敷の基礎とみられる河原石の石組みが長さ約6mに亘り確認された。石組みは現地表面より約50cmの深さに2段に組まれていた。

今回の調査地点は庄手川にかかる橋の手前にあたり、藪で覆われていたことにより開発を免れ、遺構が残存していたものと思われる。

筑後軌道は近世より、船で行っていた木材等の運搬に取って代わる陸上輸送手段として、近代日田の経済発展を支えた重要な輸送機関であった。市内には石橋やトンネルなど軌道に利用された遺構は数多く残っており、これらは日田の近代化遺産として保存するとともに、資料化に努めていかなければならない。

(若杉)



遺跡位置図 (1/5,000)



軌道敷石組み検出状況 (北から)

①護願寺古墳群

古墳群は、盆地南側にある上野台地の西側に延びる尾根上、標高約120mに立地し、前方後円墳1基を含む計3基で構成される。周辺には、古墳時代後期の装飾古墳であるガランドヤ古墳群が北西側の河岸段丘上に、穴観音古墳が西側の長者原台地に存在し、東側の上野台地には縄文から中世の複合遺跡である上野遺跡が広がっている。

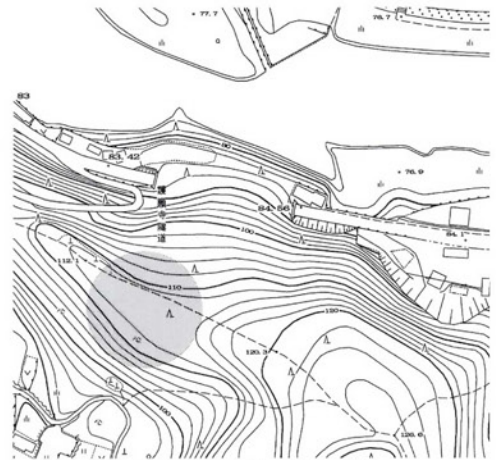
測量調査は、前方後円墳とされる1号墳の墳丘形態、規模、周溝の有無、立地状況の確認のため、8月22日～9月2日の12日間実施した。なお本調査は、市教委や地主の協力のもと、日本私立学校振興・共済事業団の大学教育高度化推進特別経費を受け、別府大学文化財研究所で実施した。調査に使用した座標は世界測地系で、尾根南側の210号線バイパス工事現場から、施工主及び業者の許可を得て移動し、設定した。測量はデジタル器機を使用した変化点測量で行い、測量図は等高線間隔25.0cmで図化した。

なお、本稿掲載分の測量図は、平成18年3月31日現在のものである。

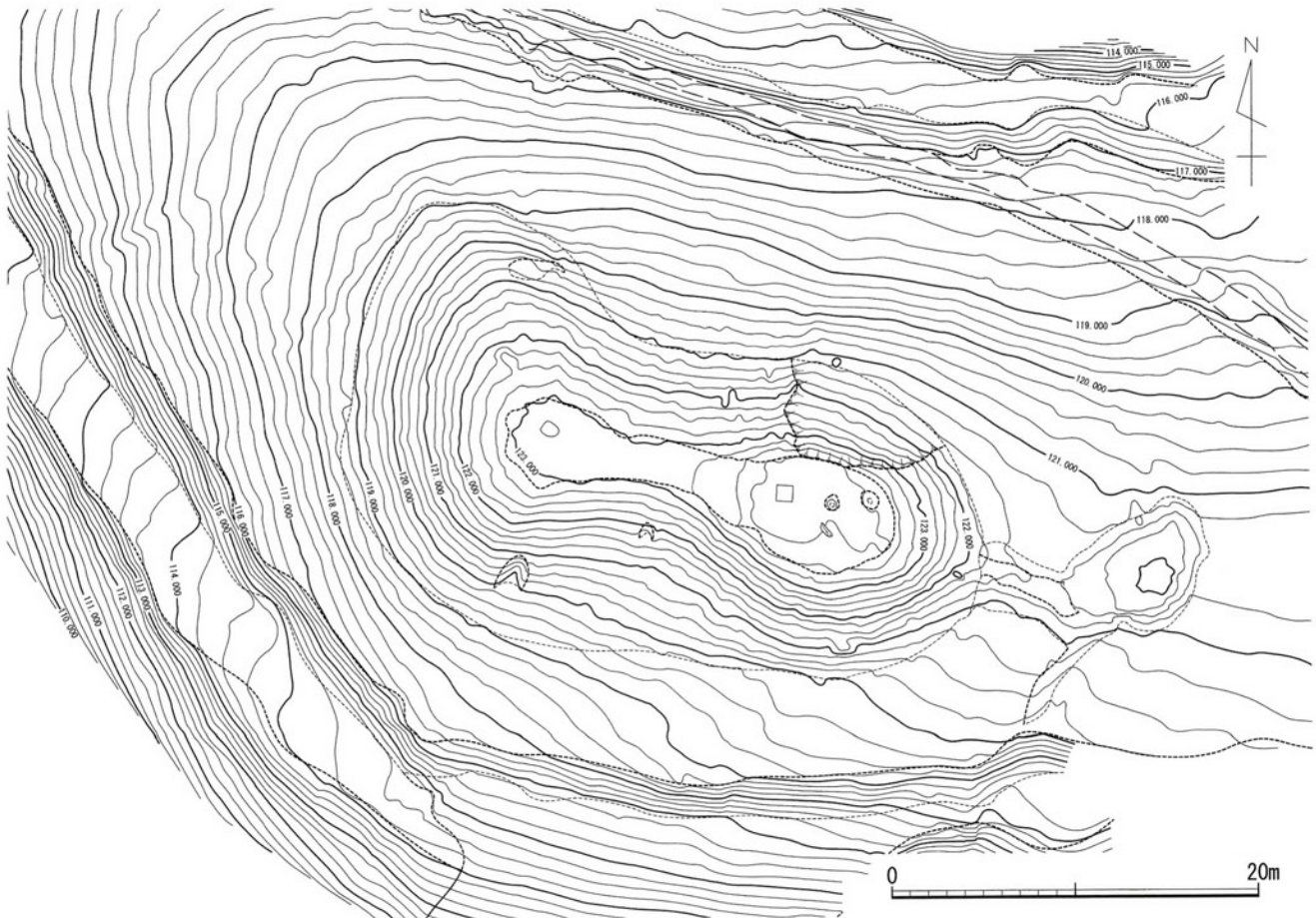
調査の結果、墳丘全体は、削平や流土によりやや変形しているが、東西墳丘部の西側については、下端が南北方向へ広がることから、前方部は西側であると考えられる。したがって、後円部が東側を向き、墳丘が尾根の丘陵部に沿って立地するという状況から、巧みに自然地形を利用した造営であることが窺える。規模については、現状で全長36.0m、前方部幅20.0m、後円部径18.0mを測り、後円高と前方高の差は0.6mで後円部のほうが高い。また、後円部東側に平面プランが楕円形を呈し、20～30cm大の礫と土からなる、高さ1.0mの盛土が確認された。なお、今回の測量調査では、後円部・クビレ部の規模・形態、周溝の有無については正確な把握ができなかった。当古墳は、市内の盆地南側に立地する唯一の前方後円墳であり、今後確認調査により内容を解明し、保存整備していくことが課題となろう。

(下村・玉川)

—史跡の内容確認に伴う測量調査—



遺跡位置図 (1/5,000)



墳丘測量図 (1/400)

②城山古墳

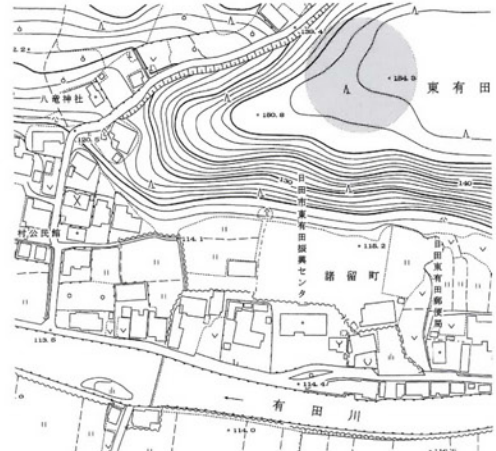
城山古墳は、北東から西に派生する標高150～160mの須ノ原台地の南端に立地し、前方部を西に向ける前方後円墳である。周辺には、有田川を挟んだ対岸の台地にクエト古墳(1・2号)、その西側に平島古墳、塔ノ本古墳(1～3号)、弥生後期～古墳時代にかけての集落遺跡である平島遺跡などが存在する。

本古墳は、昭和63年に大分県前方後円墳研究会により測量調査が行われた。作成された測量図は、墳丘部及び周辺部が対象で、等高線間隔は25.0cmである。今回は測量範囲を広げ、あらたに周辺地形を含む墳丘形態、規模、周溝の有無、立地状況の確認を目的とした測量調査を、平成17年9月5日～9日、10月22・23日、平成18年2月13～17日の12日間行った。なお本調査は、市教委や地主の協力のもと、日本私立学校振興・共済事業団の大学教育高度化推進特別経費を受け、別府大学文化財研究所で実施したものである。調査に使用した座標は世界測地系で、測量はデジタル器機を使用した変化点測量で行い、測量図は等高線間隔25.0cmで図化した。本稿掲載分の測量図は、平成18年3月31日現在のものである。

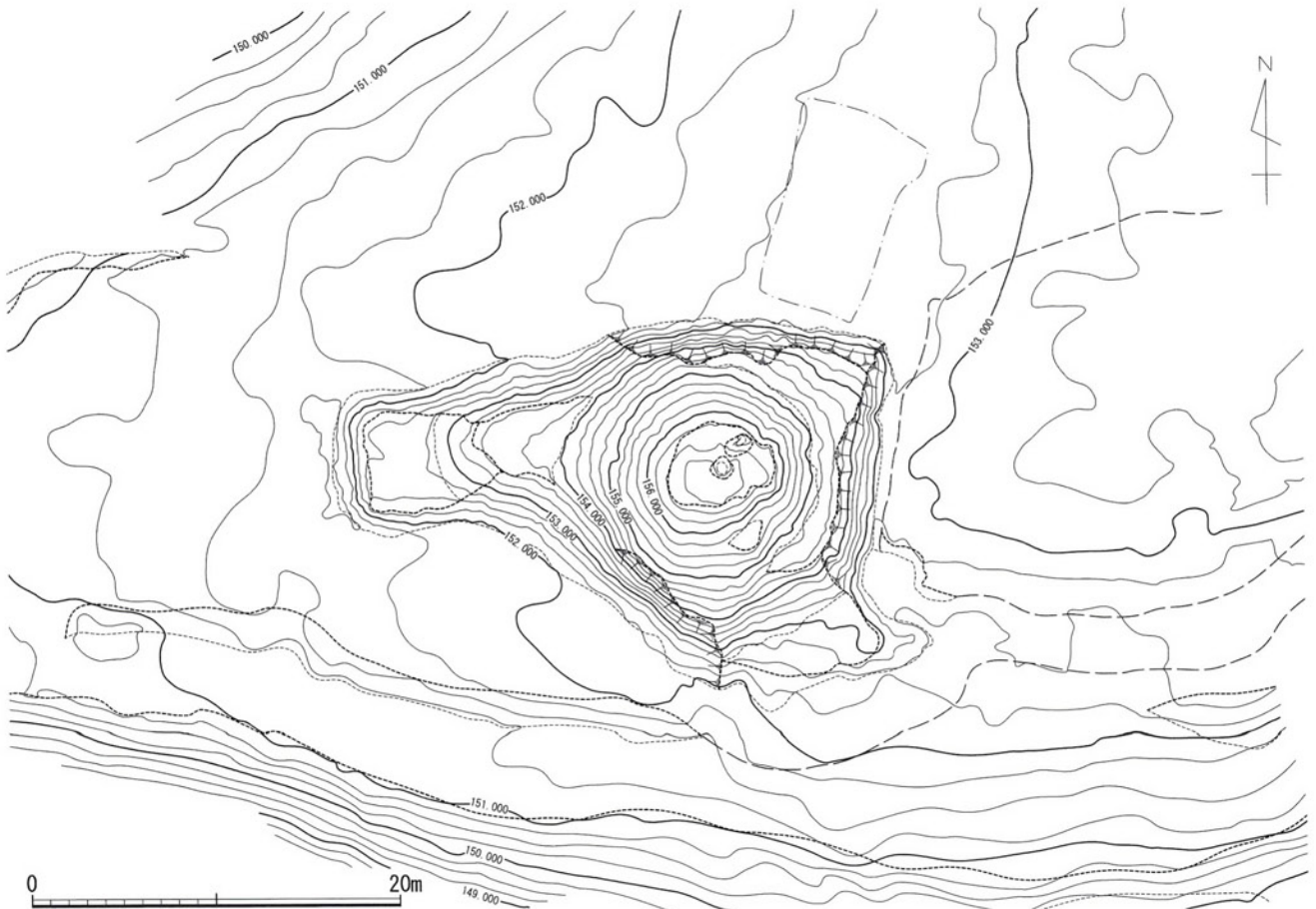
調査の結果、規模については、現状で全長29.9m、前方部幅7.5m、後円部径18.5mを測り、後円高と前方高の差は3.2mを測る。後円部は、ほぼ全面にわたる削平及び崩落により方形状を呈し、墳丘斜面には北から東側にかけて若干のテラスが確認できる。しかし築造当初のものかは不明である。また前方部の平面は、端部に向かって狭くなっており、端部及び側面が削平されている。さらに墳頂は、半ばあたりに段が認められ、端部に向けて盛土が削られている。墳丘周辺では、南側に畑作開墾時のものと思われる段落ちの上端に沿って、葺石に使用したと思われる礫が多量に確認された。以上のように多くの改変を受け、形態、規模、周溝の有無など不明な点が多いため、今後の確認調査に期待したい。

(下村・玉川)

一史跡の内容確認に伴う測量調査一



遺跡位置図 (1/5,000)



墳丘測量図 (1/600)

③隈山古墳

隈山古墳は、日田盆地南西部にある独立丘陵の隈山に所在し、山頂よりやや下った南斜面に位置する。現況では丘陵の大半が墓地として利用され、墓石が立ち並ぶ状況である。

古墳は、これまでその所在が知られていなかったが、開口部らしき穴の存在が通報されたことから、現地確認を実施した。確認の結果、天井石が崩落した横穴式石室であることが判明した。しかし、墓地が立並ぶ共有地であることなどから本調査は困難であると判断し、現況での測量・写真撮影を実施して、真砂土で埋め戻して保存措置を講じることとなった。

調査の際に、南北軸約2.3～2.5m、東西軸約1.6～1.8m、現況床面から天井部までは約1.4mを測る小形の横穴式石室で、板石積みの円形の持送り天井を有し、装飾の見られない玄室のみが残存していることが確認された。

古墳の南側の段丘上には装飾古墳であるガランドヤ古墳群が所在しており、これらに隣接して古墳が所在することは、装飾古墳群の築造の過程を考える上で貴重な発見と言える。(渡邊)

—石室崩落防止のための緊急調査—



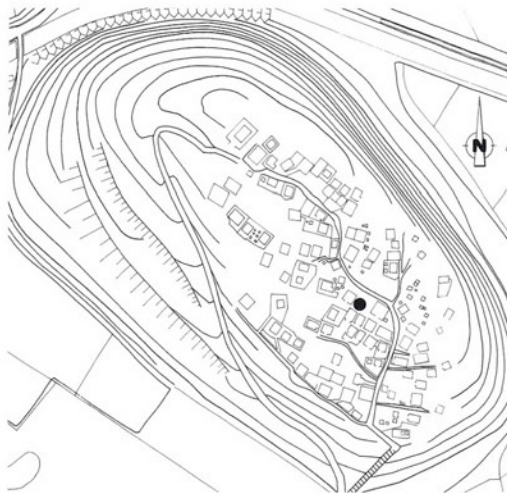
遺跡位置図 (1/5,000)



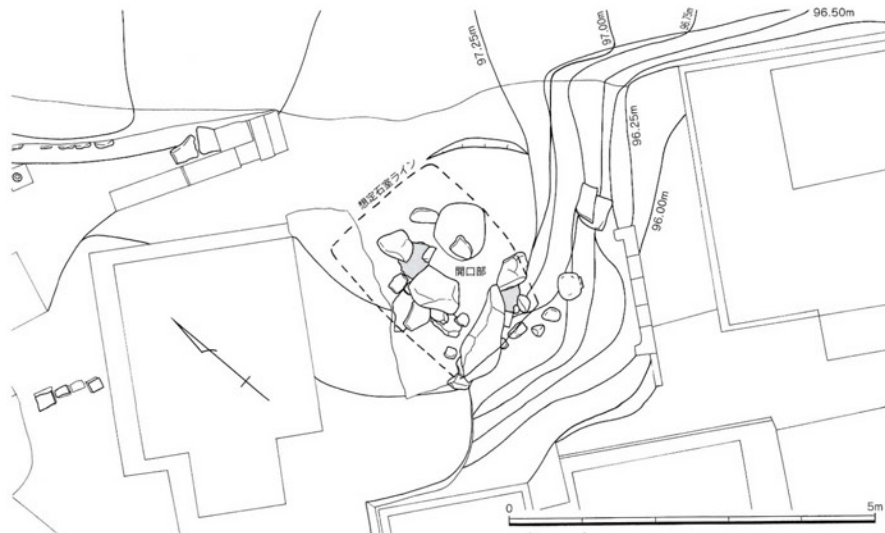
古墳近景



石室内石積状況



古墳位置図 (1/2,000)



古墳測量図 (1/100)

表3 試掘・立会調査一覧表

面積単位：㎡

番号	遺跡名	事業主体	事業目的	調査場所	開発面積	調査面積	調査期間	調査区分	遺跡の時代	検出遺構	出土遺物	処置	詳細地図番号
12	須ノ原遺跡	民間	堆肥舎建設	有田字原1863-2	1,269	15	0421	試掘	なし	なし	なし	工事実施	有田32
13	入龍遺跡	民間	資材置場建設	本町618-1	1,943	20	0426	試掘	弥生	包含層	弥生土器	工事実施	竹田20
14	日高遺跡	民間	分譲住宅建設	日高字中磯1601-1	1,609	23	0512	試掘	なし	なし	なし	工事実施	古金19
15	尾瀬遺跡	民間	分譲住宅建設	有田字ヒヤケ745-1	2,137	12	0512	試掘	なし	なし	なし	工事実施	有田33
16	鉄瀬遺跡	民間	個人住宅	高瀬字西ノソノ494-1	1,213	37	0527~0608	確認	弥生~古墳	住居跡、土坑、柱穴	土器	工事実施	竹田34
17	中川原遺跡	公共	運動場整備	大山町西大山3494-1	4,075	45	0605	試掘	弥生	住居跡、柱穴	弥生土器	確認調査	森林基本09-1
18	片山原遺跡	民間	鉄塔建設	東有田字横枕2937-1	225	15	0607	試掘	なし	なし	なし	工事実施	池辺38
19	上井手遺跡	民間	分譲住宅建設	日高字其田918-1、919-9	1,606	15	0608	試掘	中世	溝・土坑	土師器・青磁	発掘調査	竹田35
20	長者原遺跡	民間	菜園分譲工事	内河野字倉園12、275-1	3,457	22	0614~15	試掘	縄文~近世	土坑・柱穴	石器・土器片	確認調査	石井2-5
21	日田条里高外場	民間	分譲住宅建設	上城内町1116-1	2,999	30	0621	試掘	古代~中世	溝・土坑・柱穴	土師器	発掘調査	田島76
22	日田条里平ノ下	民間	分譲住宅建設	三和928-1	1,794	20	0622	試掘	なし	なし	なし	工事実施	三和42
23	日田条里熊崎①	民間	分譲住宅建設	上城内町1093-2	831	17	0622	試掘	古代~中世	溝・土坑・柱穴	土師器・須恵器	確認調査	田島75
24	入龍遺跡隣接地	民間	アパート建設	若宮町438-3	434	15	0623	試掘	なし	なし	なし	工事実施	竹田36
25	上井手遺跡	民間	分譲住宅建設	乃連町取所816-1	1,455	28	0707~0708	確認	縄文	流路	縄文土器・石器・土偶	要協議	竹田33
26	大見取遺跡隣接	公共	簡易水道施設	友田3582	400	13	0714	試掘	なし	なし	なし	工事実施	北友田27
27	小迫辻原遺跡隣接	公共	農道整備	小迫字榎町1007-1	1,590	6	0715~0721	試掘	弥生	包含層	弥生土器	工事実施	小迫57
28	八本木遺跡	民間	牛舎新築工事	天瀬町五馬市527-7	500	26	0720	試掘	なし	なし	なし	工事実施	森林基本246-1
29	日田条里熊崎②	民間	分譲住宅建設	上城内町1093-2	831	63	0721~0726	確認	古代~中世	流路、溝、柱穴	土師器・白磁	工事実施	田島75
30	大肥遺跡隣接地	民間	鉄塔建設	大肥字山道2208-1	500	11	0825	試掘	なし	なし	なし	工事実施	森林基本155-13
31	大内田遺跡隣接地	公共	道路拡幅	友田字大内田1893	200	13	0831	試掘	なし	なし	なし	工事実施	北友田28
32	尾瀬遺跡②	民間	資材置場建設	有田字ヒヤケ748-1	871	18	0927	試掘	古墳	溝、土坑、柱穴	土師器	工事実施	池辺41
33	入龍遺跡②	民間	アパート建設	竹田字入龍633-4	646	15	1011	試掘	弥生	流路、柱穴	弥生土器	工事実施	竹田39
34	長者原遺跡②	民間	菜園分譲工事	内河野字倉園12、275-1	3,457	150	1017~1019	試掘	縄文~近世	土坑・柱穴	石器・土器片	確認調査	石井2-5
35	日田東土井ノ内	公共	児童施設建設	友田1133-2番地	156	16	1031	試掘	中世、近世	柱穴、溝	なし	工事実施	小迫58
36	片山原遺跡隣接	民間	鉄塔建設	有田字葉口3986-2	225	19	1104	試掘	なし	なし	なし	工事実施	町野4
37	片山原遺跡隣接②	民間	鉄塔建設	有田字川原田3912-1	225	20	1107	試掘	なし	なし	なし	工事実施	森林基本191-3
38	上井手遺跡③	民間	園舎改築	日高字885-1	1,228	15	1114	試掘	中世	柱穴	土師器	竹田41	
39	薬師前遺跡隣接	公共	園場整備	小野	49,000	158	1117~1122	試掘	なし	なし	なし	工事実施	森林基本31-6-1
40	尾田遺跡隣接	民間	個人住宅	小迫字坂ノ下935-5・6	227	7	1129	試掘	なし	なし	なし	工事実施	小迫59
41	日田条里鹿ヶ元	民間	分譲住宅建設	三本松新町751-9	1,887	20	1220	試掘	弥生・中世	溝、柱穴	弥生土器・土師器	発掘調査	玉川8
42	中川原遺跡	公共	園場整備	大山町西大山	30,000	260	1220~0111	試掘	縄文・弥生	住居跡、土坑、溝	縄文土器・石器・須恵器	発掘調査	森林基本09-3
43	三和教田遺跡隣接	民間	店舗建設	三和字宮奈987	9,500	15	0111	試掘	なし	なし	なし	工事実施	三和43
44	平島遺跡	民間	店舗建設	有田字榎町1254-1ほか	3,634	60	0320~0321	試掘	なし	なし	なし	工事実施	有田34
45	鍛冶屋廻り遺跡	民間	造成計画	小迫字中村74-2ほか	7,200	78	0323~0331	試掘	弥生~中世	住居跡、土坑、柱穴	弥生土器・須恵器	確認調査	小迫60
46	小迫辻原遺跡隣接	公共	農道整備	小迫字浜通999-3	1,500	6	0324	試掘	なし	なし	なし	工事実施	小迫63
47	日田東土井ノ内	公共	運動場整備	北友田1丁目1133-2	7,100	172	0327~0330	試掘	なし	なし	弥生土器・土師器	要協議	小迫64、玉川70

表4 書類審査のみの照会一覧表

面積単位：㎡

受付月日	事業主体	事業目的	開発場所	開発面積	詳細地図番号	備考
0407	民間	店舗兼住宅工事	渡里字島ノ本1044-8ほか	280	小迫55	
0408	民間	宅地造成工事	渡里字島ノ本1062-1ほか	2,009	小迫56	
0408	民間	個人住宅	中本町746-3	83	田島72	
0414	民間	鉄塔建設工事	東有田字新山2882-1	225	池辺39	
0414	民間	鉄塔建設工事	東有田字ヨコ石2202-1	225	町野5	
0414	民間	鉄塔建設工事	東有田字葉口3970-3	225	町野6	
0414	民間	鉄塔建設工事	天瀬町女子畑字猪ノ頭2727	225	森林基本205-1	
0414	民間	鉄塔建設工事	天瀬町女子畑字金迫2483-12	225	森林基本205-2	
0414	民間	鉄塔建設工事	天瀬町女子畑字白水2576	225	森林基本205-3	
0414	民間	鉄塔建設工事	天瀬町女子畑字白水2583-1	225	森林基本205-4	
0414	民間	鉄塔建設工事	天瀬町女子畑字漆原2635-3	225	森林基本205-5	要予備調査、次年度以降協議
0420	民間	病院建設	西有田字上手10-1	4,000	上手62	
0420	公共	鉱業試掘	前津江町・中津江村	21,850,000	—	
0502	民間	資材置場	北豆田字扇畑1496-1	2,000	田島73	
0510	民間	店舗兼住宅工事	丸の内町570番地の一部	144	田島74	要予備調査、次年度以降協議
0511	民間	鉄塔建設工事	求米里字北井釜1315-1	220	池辺40	
0512	民間	店舗建設	中央1丁目408・404	1,501	田島68	
0616	民間	宅地分譲造成工事	田島1丁目539	1,525	田島77	
0617	民間	アパート建築工事	南元町227	166	竹田37	
0627	民間	残土処理場	天瀬町台田字八ノ久保2856-2	8,539	森林基本223-1	
0630	民間	養殖場	中津江村合瀬1388	6,572	—	
0713	民間	鉄塔建設工事	鶴河内字峠ワキ470番1	230	森林基本31-3-1	
0713	民間	資材置場造成工事	馬原字寅丸3349番1	1,348	森林基本206-1	
0714	民間	残土処理場	高瀬字ツル5300他	9,761	—	
0714	民間	残土処理場	天瀬町女子畑字地蔵23他	7,701	森林基本205-6	
0721	民間	個人住宅	花月字下233-1	393	花月7	
0805	民間	資材置場造成工事	竹田新町623-1	1,501	竹田38	
0805	民間	鉄塔建設工事	有田字奥原6-4	—	上手63	
0805	民間	鉄塔建設工事	鶴河内字大浦230-7	20	森林基本31-3-3	
0823	民間	牛舎建設工事	天瀬町塚田字割ヶ台1601-36	2,038	森林基本246-1	要予備調査、次年度以降協議
0920	民間	鉄塔建設工事	北豆田字ヤノム子1768-1	187	田島78	
0922	民間	個人住宅	丸山1丁目9-8	354	上手64	
0927	民間	鉄塔建設工事	小野字内屋敷533	230	花月8	要予備調査、次年度以降協議
0929	民間	サービス施設建築工事	南元町245	1,046	竹田40	
1011	民間	盛土工事	石井字船渡607-1他	3,825	石井19	
1012	民間	別荘地造成	天瀬町赤若字大ツル662-1他	9,764	森林基本223-2	
1021	民間	グラウンド造成P工事	日高885-1	742	竹田41	
1020	民間	鉄塔建設工事	夜明字石切場3541	430	—	
1031	民間	土捨場造成工事	高瀬字重ノ迫2349-2他	7,600	串川7	
1124	民間	店舗建設工事	三和字小路3160	498	三和44	
1129	民間	駐車場造成工事	西有田字葛原1702	1,323	西有田8	
1212	民間	駐車場造成工事	大肥字ナラカ坪2910-1他	1,841	森林基本173-17	
1216	民間	倉庫建築工事	日高字取所885-1	742	竹田41	
1219	民間	個人住宅建築工事	三本松新町763-38	149	玉川68	
1222	民間	共同住宅建築工事	渡里字島ノ本1041-5	858	小迫61	
1227	民間	ボール建設工事	大山町西大山字井ノ原961-21	4	森林基本09-2	
0120	公共	側溝整備工事	三本松新町39番地先	46	玉川69	
0126	民間	住宅造成	北豆田字南平1430-1他	35,000	田島79	要予備調査、次年度以降協議
0130	民間	鉄塔建設工事	日高字牧原2739-1	250	小ヶ瀬1	
0215	民間	個人住宅建築工事	渡里字小見取1120-4	469	小迫62	
0216	民間	ボール建設工事	渡里字桑ノ元999-2	4	上手65	
0303	民間	住宅造成	日高字牧原2740-1他	14,200	小ヶ瀬2	要予備調査、次年度以降協議
0320	民間	鉄塔建設工事	天瀬町榎竹字台ガタ161-1	—	森林基本223-3	

II 平成17年度の埋蔵文化財普及・啓発事業

1) 埋蔵文化財センター運営事業

平成15年度より5年間を一つの区切りに、埋蔵文化財センターの運営事業を行っており、今年度はその3年目として発掘調査速報展を開催し、合併による新市誕生に伴い常設展をリニューアルオープンしたほか、前年度に引き続き市民を対象とした考古学講座などの普及活動にも力を入れた。

1. 平成16年度埋蔵文化財発掘調査速報展（5月13日～6月24日）

平成16年度に市内で行った発掘調査の成果を市民にいち早く公開するため遺物・写真パネルの展示を行い、市内を中心に365人の来館者があった。

埋蔵文化財センター見学者数

月	総見学者数	団体	個人	特別展
4月	3	0	3	
5月	298	119	179	速報展 (5/13~6/24) 365人
6月	86	51	35	
7月	73	0	73	
8月	61	30	31	
9月	20	9	11	
10月	25	16	9	
11月	2	0	2	
12月	13	0	13	
1月	12	0	12	
2月	76	70	6	
3月	10	0	10	
	679	295	384	

【主な来訪団体】市立成宜小学校（119名：センター見学）、市立赤石小学校（4名：センター見学）、市立三和小学校（47名：センター見学）、市立台小学校（5名：センター見学）、市立五馬中学校（24名：センター見学）、中部公民館（13名：センター見学）、上津江公民館（17名：センター見学）、光岡公民館ヒカリっ子塾（11名：センター見学）、明治大学カルチェ・ヴィヴアン文化講座（41名：センター見学）



常設展示風景



速報展見学風景

2. 考古学講座「タイムトリップひたvol.3」

市民を対象に、「考古学」や「埋蔵文化財」を通して「地域の歴史」に対する関心を深めてもらうために市内外から講師を招き、10回の講座を実施した。

月日	回数	内 容	講 師	受講人数
0608	第1講	縄文時代の終わりから弥生時代の始まり —考古学の方法による弥生時代の実年代—	西南学院大学教授 高倉洋彰氏	48
0622	第2講	旧石器時代から縄文時代へ	大分県教育委員会職員 後藤一重氏	40
0713	第3講	ジャーナリストから見た考古学	大分合同新聞社日田支局 清田透氏	40
		考古学の楽しさは、発掘の楽しさ ～日田は文化遺産、産業遺産の宝庫です～	高瀬春生氏	
0727	第4講	縄文時代から弥生時代へ	熊本大学教授 甲元真之氏	27
0810	第5講	発掘調査報告 亀石山遺跡	今田秀樹	26
		平成16年度発掘調査報告① 入龍遺跡	行時桂子	
0824	第6講	弥生時代から古墳時代へ —小迫辻原遺跡と宇佐市小部遺跡・風土記 の丘古墳群—	宇佐市教育委員会職員 小倉正五氏	32
0914	第7講	平成16年度発掘調査報告② 金田遺跡	若杉竜太	32
		平成16年度発掘調査報告② 薬師堂山古墳	別府大学講師 玉川剛司氏	
0928	第8講	比多国造から日田郡へ —前方後円墳と「風土記」からみた日田の古代—	大分県教育委員会職員 田中裕介氏	32
1012	第9講	平成16年度発掘調査報告③ ガランドヤ古墳	土居和幸	34
		平成16年度発掘調査報告③ 慈眼山瀬戸口遺跡	渡邊隆行	
1023	第10講	九州国立博物館見学バスツアー	文化財保護課職員	37

※申込み人数 57人



考古学講座講義風景



バスツアー風景

3. 考古体験・体験教室・出張展示

楽しみながら先人の知恵や技に触れ、埋蔵文化財についての理解を深めてもらうための機会を提供する目的から、「火熾し体験・発掘体験・整理作業体験・展示見学・考古の話」などの体験メニューを各団体からの申込みにより実施すると共に、光岡小学校ふれあい祭に併せて光岡地区の調査成果の出張展示を実施した。

月日	協力・協賛先	内 容	場 所	参加人数
0526	咸宜小学校	展示見学、火熾し体験	埋蔵文化財センター	119
0609	赤石小学校・三和小学校	展示見学、火熾し体験	埋蔵文化財センター	4・47
0809	中部公民館	展示見学、火熾し・狩猟体験	埋蔵文化財センター	13
0819	上津江公民館	展示見学、火熾し・狩猟体験	埋蔵文化財センター	17
1015	光岡公民館ヒカリっ子塾	展示見学、狩猟体験	埋蔵文化財センター	11
1030	光岡ふれあい祭	出張展示・火熾し講座	光岡小学校	226・26
1226	西有田公民館わんぱく教室	火熾し体験	西有田公民館	17
0209	五馬中学校	展示見学、火熾し体験	埋蔵文化財センター	24
0216	台小学校	展示見学、火熾し・整理体験	埋蔵文化財センター	5



出張展示 (光岡ふれあい祭)



火熾し講座 (光岡ふれあい祭)



狩猟体験 (上津江公民館)

2) 埋蔵文化財の普及・啓発活動

遺跡の調査成果を広く一般市民に公開するため、現地説明会や講師の派遣、調査報告書の作成を実施した。

1. 大山町中川原遺跡現地公開

中川原遺跡の発掘調査の成果を広く一般に公開する目的で、平成17年11月12日に大山小学校児童向け現地公開を、同27日に現地説明会を開催した。現地説明会では、出土遺物および遺構写真の展示のみを行い104名の見学があった。



児童向け現地公開風景



現地説明会風景

2. 発掘調査が語る私塾咸宜園とその遺品展

広瀬淡窓没後150年記念事業の一環として、『発掘調査が語る私塾咸宜園とその遺品展』と題し、発掘調査の成果を広く公開するため、市役所1Fロビーにて、平成17年10月25日～11月7日まで開催した。

咸宜園跡の発掘調査で出土した遺物や調査風景・出土状況等の写真、咸宜園絵図、年表等のパネルを展示し、展示品をより理解するための参考資料として筆・硯・墨・入門簿、水滴も併せて展示し、2週間の展示期間中293名の見学があった。



展示風景1



展示風景2

3. 講師派遣・講師依頼

講師の依頼件数は考古学講座に伴う依頼は8件、派遣は7件であった。

月日	区分	派遣・依頼先	内 容	講 師
0417	派遣	大分県考古学会	朝日天神山古墳の発掘調査について	若杉
0608	依頼	西南学院大学	考古学講座第1講「縄文時代の終わりから弥生時代の始まり—考古学の方法による弥生時代の実年代—」	西南学院大学教授 高倉洋彰氏
0622	依頼	大分県教育庁文化課	考古学講座第2講「旧石器時代から縄文時代へ」	大分県教育委員会職員 後藤一重氏
0713	依頼	大分合同新聞日田支局	考古学講座第2講「ジャーナリストから見た考古学」	大分合同新聞日田支局長 清田透氏
	依頼	日田考古学同好会	考古学講座第3講「考古学の楽しさは、発掘の楽しさ～日田は文化遺産、産業遺産の宝庫です～」	高瀬春生氏
0727	依頼	熊本大学	考古学講座第4講「縄文時代から弥生時代へ」	熊本大学教授 甲元真之氏
0824	依頼	宇佐市教育委員会	考古学講座第6講「弥生時代から古墳時代へ—小迫辻原遺跡と宇佐市小部遺跡・風土記の丘古墳群—」	宇佐市教育委員会職員 小倉正五氏
0914	依頼	別府大学	考古学講座第7講「平成16年度発掘調査報告」	別府大学講師 玉川剛司氏
0928	依頼	大分県教育庁埋蔵文化財センター	考古学講座第8講「比多国造から日田郡へ—前方後円墳と「風土記」からみた日田の古代—」	大分県教育委員会職員 田中裕介氏
1015	派遣	光岡公民館	光岡公民館ヒカリっ子塾	土居・若杉・矢羽田
1105	派遣	別府大学日田歴史文化研究センター	咸宜園の考古学	土居
1112	派遣	大山小学校	中川原遺跡大山小学校児童向け現地説明会	土居・今田・行時・若杉・渡邊・矢羽田
1116	派遣	上野町自治会	ここまでわかった古代の上野	行時・矢羽田
1130	派遣	大山小学校	大山みのり祭	土居・若杉・渡邊・矢羽田・中村
1210	派遣	日田考古学同好会	『豊後国風土記』について	中村
0112	派遣	ひたまちづくり研究所	『豊後国風土記』について	中村

4. 刊行物

埋蔵文化財に関わる刊行物の今年度の発行件数は年報1件、調査報告書12件であった。

	書 名	巻次	体裁	総頁	内 容
1	平成16年度(2004年度)日田市埋蔵文化財年報	—	A4	17	平成16年度に日田市教育委員会が行った埋蔵文化財調査事業、埋蔵文化財保護事業、埋蔵文化財普及および啓発事業などを所収。
2	祝原遺跡	61	A4	16	圃場整備に伴う埋蔵文化財調査の成果。縄文時代の包含層、中世の水田層、近世の掘立柱建物などを所収。
3	大肥中村遺跡Ⅰ	62	A4	29	圃場整備に伴う埋蔵文化財調査の成果。古墳時代の竪穴住居・石棺墓・土坑・溝、奈良時代の竪穴住居、平安時代の掘立柱建物・祭祀ピット・土坑・水田層などを所収。
4	大肥下河内遺跡	63	A4	35	圃場整備に伴う埋蔵文化財調査の成果。縄文時代の包含層と同時期と見られる竪穴遺構・集石遺構・土坑などを所収。
5	大肥祝原遺跡Ⅱ	64	A4	39	圃場整備に伴う埋蔵文化財調査の成果。縄文時代の包含層と同時期と見られる竪穴・集石・土坑などを所収。
6	高野遺跡	65	A4	103	圃場整備に伴う埋蔵文化財調査の成果。弥生時代の竪穴住居・掘立柱建物・竪穴遺構・土坑・甕棺墓、中世の掘立柱建物・土坑・溝などを所収。
7	大肥遺跡Ⅱ —B・C区の調査の記録—	66	A4	222	圃場整備に伴う埋蔵文化財調査の成果。弥生時代の甕棺墓・木棺墓・石棺墓・竪穴住居・土坑・周溝状遺構、古墳時代の竪穴住居・石棺墓・土坑、古代の竪穴住居・土坑などを所収。
8	大肥遺跡Ⅲ —A-2区の調査概要—	67	A4	35	圃場整備に伴う埋蔵文化財調査の成果。弥生時代の掘立柱建物・導水路状遺構・木枠組遺構・堰・流路などを所収。
9	一丁田遺跡	68	A4	23	宅地分譲地造成工事に伴う埋蔵文化財調査の成果。弥生・古墳時代の竪穴住居・土坑・溝、中世の掘立柱建物・溝などを所収。
10	尾槽2号墳	69	A4	26	ウッドコンビナート建設に伴う埋蔵文化財調査の成果。古墳時代の円墳1基(主体部2基)を所収。
11	吹上Ⅳ	70	A4	158	平成7年に実施した6次の埋蔵文化財調査の成果。弥生時代の青銅器や鉄器などの武器類、貝輪や玉類などの装身具といった副葬品が納められた大型の甕棺墓や木棺墓のほか、平安時代後期の経塚1基などを所収。
12	徳瀬遺跡Ⅱ	71	A4	29	昭和59年度に実施した1次の埋蔵文化財調査の成果。弥生時代の溝と竪穴住居と推定される遺構等や弥生・古墳時代、中世の遺物を所収。
13	中川原遺跡	72	A4	26	小学校グラウンド改修に伴う埋蔵文化財調査の成果。弥生時代の竪穴住居・石棺墓・木棺墓・土壙墓、中世の土壙墓などを所収。

3) その他

今年度、埋蔵文化財関連資料の貸出は11件、借用3件であった。

1. 資料借用・貸出

受付月日	区分	資料名	借用・貸出先	目的
0520	貸出	大宮司遺跡出土石器	個人	展示
0705	貸出	日田市埋蔵文化財報告書第30・33～35集、H12年度年報、H14～16CD	個人	インターネットホームページ掲載
0808	貸出	朝日天神山古墳2号墳出土遺物写真（ポジ）	宮崎県立西都原考古博物館	書籍掲載
0822	貸出	朝日天神山古墳2号墳出土大型平底壺	宮崎県立西都原考古博物館	展示
1011	借用	草場第2遺跡・北友田横穴墓群出土遺物および写真	大分県教育庁埋蔵文化財センター	展示
1019	借用	咸宜園絵図・入門簿、硯、墨、筆	廣瀬資料館	展示
1020	借用	水滴	個人	展示
1116	貸出	穴原遺跡出土石鏃等写真	光岡小学校	書籍掲載
1121	貸出	小迫辻原遺跡発掘調査関連写真（ポジ）および図面	栃木県さくら市ミュージアム荒井寛方記念館	パネル作成及び図録掲載
1130	貸出	咸宜園出土陶磁器・硯およびパネル類	大分県教育庁文化課	展示
0223	貸出	吹上遺跡K4号墓出土ゴホウラ製貝輪（レプリカ）	宮崎県立西都原考古博物館	展示および図録掲載
0223	貸出	吹上遺跡K4・5号墓 人骨、副葬品出土状況写真	宮崎県立西都原考古博物館	図録掲載
0317	貸出	吹上遺跡4号甕棺墓出土遺物等写真	九州国立博物館	図録および広報資料掲載
0328	貸出	日田市空中写真	PHP研究所	書籍掲載

2. 資料寄託・寄贈

受付月日	区分	資料名	数量	寄託・寄贈者	備考
0614	寄贈	朝日天神山古墳1号墳出土須恵器・土師器	12	個人	
1026	寄贈	瓦・打製石斧・黒曜石原石	5	個人	
0331	寄託	弥生土器、石器類	9	個人	

3. 資料閲覧

期間	資料名	内容	申請者	目的
0526	亀石山遺跡出土石器等	実見	熊本大学大学院社会文化科学研究科 芝康次郎氏	学術研究
0907～0908	亀石山遺跡・大坪遺跡・西遺跡・宇土遺跡ほか出土石器等	実見・写真撮影	東京大学大学院新領域創成科学研究科 森先一貴氏	個人研究利用
1022	伝 姫塚古墳出土蛇行剣等	実測・メモ・写真撮影	(財)石川県埋蔵文化財センター 伊藤雅文氏	蛇行剣研究のため
0129	朝日天神山古墳出土遺物（壺形土器等）	実見・拓本・写真撮影	韓国全南大学校教授 林永珍氏	研究および国際学術交流のため
			別府大学教授 下村智氏	
			福岡大学助教授 桃崎祐輔氏	
			埼玉県本庄市教育委員会 太田博之氏	
0215	吹上遺跡4号・5号甕棺出土貝輪	実見	宮崎県立西都原考古博物館学芸普及班主査 東憲章氏	特別展開催に伴う資料調査のため
0302	宇土遺跡3号墳	石棺目地の確認	熊本県立装飾古墳館主任学芸員 池田朋生氏	熊本県立装飾古墳館の企画展示準備に係る調査
			東京文化財研究所主任研究員 朽津信明氏	
0303	朝日天神山1号墳出土須恵器・平底壺	実見	奈良文化財研究所 高橋克寿氏	朝日天神山古墳埋輪調査
			大分県教育庁埋蔵文化財センター 田中裕介氏	

Ⅲ 受領図書一覧

宮城県

(株) 創庫舎／白い国の詩9・10・11月号 (2005)

山形県

(財) 山形県埋蔵文化財センター／大明神遺跡発掘調査報告書 (2003) 服部遺跡・藤治屋敷遺跡 (2004) 萩原遺跡 (2004) 高瀬山遺跡 (1期) 本文編Ⅰ・Ⅱ・写真図版編 (遺構)・(遺物)・表編 第1・2・3・4次発掘調査報告書 (2004) 石田遺跡 (2004) 馬洗場B遺跡 (2004) 渋江遺跡 (2004) 板橋1・2遺跡 (2004) 的場遺跡 (2004) 達磨寺遺跡 (2004) 小平2遺跡・小平3遺跡 (2004) 泉森宮跡・坂ノ下遺跡 (2004) 西向遺跡 (2004) 小田島城跡第一・二分冊 (2004) 高橋南遺跡・菰蒲江1・2遺跡 (2004) 助作遺跡 (2004) 飛泉寺跡遺跡 (2004) 米沢城跡 (2004) 茗々山遺跡 (2004)

茨城県

石岡市教育委員会／代官屋敷遺跡 (2005)

栃木県

栃木県教育委員会／栃木県埋蔵文化財保護行政年報27 (2005) 上り戸遺跡 (第一・二分冊) (2005) 堀越遺跡 (2005) 祇園城跡関連遺跡 (2005) 彦七新田遺跡 (2005) 東谷・中島地区遺跡群5・立野遺跡 (第一・二分冊) (2005) 東谷・中島地区遺跡群6・磯岡遺跡 (2005) 研究紀要第13号 (2005) 埋蔵文化財センター年報第15号 (2005) 栃木県埋蔵文化財センター／栃木県埋蔵文化財センターだより「やまかいどうNo.39・40・41」 (2005～2006) さくら市ミュージアム～荒井寛方記念館／四斗時遺跡の世紀 第57回企画展 (2006)

埼玉県

本庄市教育委員会／社具路遺跡第4地点・13地点 (2004) 東五十子赤坂遺跡 (2004) 今井原屋敷遺跡第2地点 (2004) 東五十子城跡遺跡 (2004) 旭・小島古墳群・前の山古墳・上前原1～3・5～11号墳・上前原・堂場・内出前・永不地区 - (2001～2005) 市内遺跡発掘調査報告書～有勝寺真徳輪窯跡・有勝寺北裏・四方田 (Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ次調査)・久下東 (Ⅱ次調査) (2003～2005) 九反田 (Ⅲ次調査)・観音塚 (Ⅲ次調査) (2004) 東本庄 (2004)

千葉県

国立歴史民俗博物館／弥生農耕の起源と東アジア (2005) ニュースレターNo.2 (2005)

東京都

明治大学博物館／明治大学博物館研究報告第10号 (2005) 港区立土郷資料館／備中新見藩岡家屋敷跡 (2004) 麻布仲ノ町地区武家屋敷遺跡発掘調査報告書 (2003) 平成16年度港区指定文化財 (2004)江戸の外国公使館 (2005) 首都大学東京都市教養学部人文・社会学系考古学研究室／人類誌集報2003・2004年 (2005) 港区教育委員会／港区埋蔵文化財調査年報2平成15年度の調査他 (2005) 研究紀要8 (2005)

長野県

千曲市教育委員会／更埴条里水田址七石地点2・粟佐遺跡群宮裏遺跡 (2005) 屋代遺跡群荒井遺跡5 (2005) 千曲市森将軍塚古墳館ガイドブック (2000) (財) 長野県文化振興事業団長野県埋蔵文化財センター／長野県埋蔵文化財センター年報21 (2005) 長野県埋蔵文化財センター／長野県埋蔵文化財センター所報No.16 (2005) 石川条里遺跡 (8) 宮之前地点 (1994) 浅川扇状地遺跡群 松ノ木田遺跡 (1996) 小島柳原遺跡群 水内坐一元神社遺跡Ⅲ (1998) 稲花川扇状地遺跡群 西方遺跡・中沢城跡・西方遺跡 (2) (1998～2004) 綿内遺跡群 南条遺跡 (2005) 浅川扇状地遺跡群 柳原宮西遺跡・権現堂遺跡 (2)・吉田古屋敷遺跡 (2)・返日遺跡 (2005) 松代城下町跡 (2005) 石川条里遺跡 (11)・浅川扇状地遺跡群 本村東沖遺跡・浅川扇状地遺跡群 上長畑遺跡 (2005)

石川県

(財) 石川県埋蔵文化財センター／金沢市畝田西遺跡群Ⅰ・Ⅱ (2005) 金沢市畝田東遺跡群Ⅰ・Ⅱ・Ⅴ (2005) 金沢市観法寺墳墓群・観法寺ジヤマ横穴・観法寺ジヤマ窯跡・観法寺ヤツタ遺跡 (2005) 珠州市だいじょう寺畑遺跡 (2005) 珠州市南方遺跡 (2005) 珠州市寺社今社遺跡・高照寺墓地 (2005) 七尾市三室オンド遺跡・三室堂ヶ谷遺跡 (2005) 七尾市三引遺跡Ⅳ (2005) 七尾市塩津遺跡 (2005) 羽咋市四柳白山下遺跡Ⅰ (2005) かほく市八野B遺跡・黒川B遺跡 (2005) 能登町真腸製塩遺跡 (2005) 志賀町開閉テラト遺跡 (2005) 志賀町開閉野間遺跡 (2005) 志賀町大阪古屋垣内遺跡 (2005) 宝達志水町冬野遺跡・免田一本松遺跡 (2005) 宝達志水町今浜藤田山遺跡 (2005) 津幡町谷内石山遺跡 (2005) 野々市町末松遺跡 (2005) 山中町九谷A遺跡Ⅰ (2005) (財) 石川県埋蔵文化財センター年報6 (2005) 石川県埋蔵文化財情報第13号 (2005) いしかわの遺跡No.19～21 (2004～2005)

福井県

福井県教育庁埋蔵文化財調査センター／年報17 (2005) 福井城跡 (2001～2004) 京善藤谷口遺跡 (2003) 四方谷岩伏遺跡 (2003) 下丁遺跡 (2004) 滝見古墳群・大飯神社古墳群・山田古墳群・山田中世墓群 (2004) 市荒川興行寺遺跡 (2004) 発坂山ノ端遺跡 (2004) 林・藤島遺跡北野上地区 (2004) 年報18 (2004) 西山窯跡群 (1999) 坂井兵庫地区遺跡群Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ (2004～2005) 山泉遺跡 (2005) 大牧遺跡 (2005) 大塚山遺跡・山腰遺跡 (2005)

岐阜県

各務原市教育委員会／「かかみかはらの埋文」第13号 (2005) 野口庵寺A～D地区 (2005) 上田遺跡・善沼西町4号墳 (2005)

静岡県

(財) 静岡県埋蔵文化財調査研究所／社口遺跡発掘調査報告書 (1989) 静岡県神明原・元宮川遺跡 木簡概要 (1985) 笛吹段・兎沢古墳群発掘調査概報 (1983) 椿野遺跡昭和57年度発掘調査概報 (1989) 茶木堀遺跡発掘調査概報 (1984) 研究所No.1～48・50～72・75～106・111・112 (1984～2005) 川合遺跡昭和60・61年度概報 (1985) 宮下遺跡・内荒遺跡・川合遺跡 (1985) 能島遺跡昭和60年度発掘調査概報 (1986) 原川遺跡昭和60年度発掘調査概報 (1986) 長崎遺跡昭和62・63年度概報 (1988～1990) 長崎遺跡Ⅰ (本文・図版編) (1991) 瀬名遺跡昭和62・63・平成元年・2年度概報 (1988～1991) 池ヶ谷遺跡昭和63・平成2年度概報 (1989～1991) 坂尻遺跡昭和63・平成元年度概報 (1989～1990) 頭地遺跡・牛岡遺跡・向畑遺跡 (1990) 牛岡遺跡平成2年度概報 (1991) 新堀遺跡 (1991) 御殿川流域遺跡群平成2・3年度 (1991～1992) 角江遺跡平成3・4・5年度 (1992～1994) 箕輪遺跡 (1993) 祝田遺跡 (1993) 清水遺跡平成4・5年度 (1993～1994) 焼場遺跡A地点 (1993) 川合遺跡八反田地区 (1993) 石成遺跡 (1994) 元島遺跡 (1995) 川田・藤蔵遺跡 (1995) 曲金北遺跡 (1996) 西の谷遺跡発掘調査概報 (2000) 静岡県埋蔵文化財調査研究所年報Ⅱ～Ⅷ・Ⅹ～ⅩⅤ・16～21 (1986～2005) 年報18・19・20 (2002～2004) 研究紀要Ⅰ～Ⅳ・5～12号 (1986～2005) (財) 静岡県埋蔵文化財調査研究所設立10周年記念論文集 (1995) 静岡・清水平野の埋没古墳環境情報 (1999) 出土品図録 1999年度 (1999) 笛吹段・兎沢古墳群発掘調査報告書 (1984) 椿野遺跡Ⅰ・Ⅱ (1984～1985) 祝田遺跡Ⅰ・Ⅱ (1984～1985) 内荒遺跡 (遺構・遺物編) (1986～1988) 大谷川 (稲妻地区) (1988) 大谷川 (遺物・本文・図版編) (1988) 梅橋北遺跡 (1988) 能島遺跡 (図版・本文編) (1988～1989) 原川遺跡Ⅰ・Ⅱ (1988～1989) 領家遺跡 (1988) 大谷川Ⅳ (遺物・考察・本文・図版編) (1989) 川合遺跡 (遺構・本文編) (1989～1990) 高尾山遺跡 (1990) 原川遺跡Ⅲ・Ⅳ (本文・図版) (1990～1991) 川合遺跡八反田地区Ⅰ・Ⅱ (1991～1995) 長崎遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ (1991～1995) 坂尻遺跡 (本文・図版編) (1991) 宮下遺跡 (遺物編) (1991) 角江遺跡 (1991) 吉岡原遺跡 (1992) 向畑遺跡・社宮寺遺跡 (1992) 川合遺跡 (遺物編Ⅰ・2・3) (1991～1996) 平尾野添横穴群 (1992) 池ヶ谷遺跡遺構Ⅰ (1992) 瀬名遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ (1992～1996) 川合遺跡17・18区 (1991～1992) 御殿川流域遺跡群Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ (1993～1996) 新堀遺跡 (1993) 池ヶ谷遺跡Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ (1993～1996) 祝田遺跡 (1994) 箕輪遺跡 (1994) 矢崎遺跡 (1994) 焼場遺跡A地点 (1994) 椿野遺跡 (1993) 牛岡遺跡Ⅰ・Ⅱ・頭地遺跡 (1995) 上反方遺跡 (1995) 岳美遺跡Ⅰ (遺構編) (1995) 下原遺跡Ⅰ・Ⅱ (1995～1996) 遠江関分寺跡の調査 (1995) 曲金北遺跡 (遺構編) (1996) 石成遺跡 (1995) 小鹿杉本堀合坪遺跡 (1996) 賀茂ノ洞B遺跡 (1996) 焼場遺跡B地点五百町遺跡 (1996) 北神馬土手遺跡 他Ⅰ・Ⅱ (遺構編 図版・本文) (1996～1997) 岳美遺跡Ⅰ (遺物編) (1996) 上土遺跡 (立石地区)Ⅰ遺構編・Ⅱ遺物編 (1996) 水井遺跡・清水遺跡 (1996) 保録ヶ谷遺跡 (1996) 川田・藤蔵遺跡 (1996) 丸山古窯跡 (1997) 東原ノ坪遺跡 (1997) 八田原遺跡 (1997) 中峯遺跡 (1997) 大見城跡 (1997) 曲金北遺跡 (遺物・考察編) (1997) 道下遺跡 (1997) 山の神遺跡 (1997) 小笠山総合運動公園内遺跡群 (1997) 長平衛平遺跡 (1998) 中峯遺跡 (1998) 大平遺跡 (1998) 上ノ池遺跡 (1998) 徳倉B遺跡 (1998) 松林A遺跡 (1998) 川合遺跡志保田地区 (1998) 平田前田遺跡 (1998) 小池遺跡 (1998) 下原遺跡Ⅲ (1998) 清バイパス総括編 (補遺・集成図・一覧表) (1998～2000) 高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡 (1998) 元島遺跡Ⅰ (遺構編本文・図版・附図・遺物考察編Ⅰ中世・2古墳時代) (1998～1999) 掛之上遺跡 (1998) 押出シ遺跡 (遺構・遺物編) (1999～2000) 町田遺跡 (1998) 水掛渡古墳群C群 (静岡空港C地点) (1998) 生茨沢遺跡 (1999) 瀬名川遺跡 (1999) 方吹遺跡 (1999) 北ノ入A遺跡 (1999) 大谷横穴群 (2000) 池田B遺跡 (2000) 富士川SA関連遺跡 (遺構・遺物編) (2001) 菖蒲ヶ谷遺跡・山ノ口古墳群 (2001) 矢崎遺跡Ⅱ (2001) 領家遺跡Ⅱ・梅橋古墳 (2001) 御領所遺跡 (2001) 山林遺跡 (2001) 大平遺跡Ⅱ (2001) 勝田井の口遺跡 (2001) 藤守遺跡・Ⅱ (2002～2003) 恒武西宮遺跡Ⅱ・笠井若林遺跡 (2002) 中原遺跡・宮裏遺跡 (2002) 有東遺跡第20次発掘調査報告書 (2002) 小鹿杉本堀合坪遺跡Ⅱ・Ⅲ (2002～2004) 星久保古墳群 (静岡空港横断道路橋原地区) (2002) 鉄平遺跡 (2003) 大岡元長窪線関連遺跡Ⅰ (2003) 的場遺跡 (2003) すやん沢古窯跡 (2003) 寺林遺跡・虎杖原古墳 (2003) 吉崎遺跡・水掛渡D古墳群・坂口千頭ヶ谷古墳・御陣場古墳・権現塚御陣場遺跡 (静岡

空港関連遺跡A・B・D地点) (2003) 小鹿杉本堀合坪遺跡Ⅲ (2004) 上松平遺跡 (2004) 田頭山古墳群 (2004) 白岩下遺跡 (2004) 恒武東覚遺跡 (2004) 寺山古墳群第二東名
No.128地点 (2004) 森町睦実の遺跡 (2004) 大屋敷C古墳群・大屋敷1号室 (第1・2分冊) (2004) 石畑I遺跡 (2004) 蒲ヶ谷原遺跡・大溝遺跡 (2004) ミウウ方原遺跡他 (静岡空港
関連遺跡J・O・K・R地点横断道路島田地区) (2004) 角江遺跡Ⅱ (遺物編1・2・3・遺構編、別冊図版) (1996) 恒武西宮・西浦遺跡 (別冊図版) (2000) 瀬名川遺跡Ⅱ (2004) 米光川遺
跡群Ⅰ (2005) 仁田館こけら経 (2005) 米光川遺跡群Ⅱ (2005) 前岡遺跡・今城 井伊谷川流域の遺跡Ⅰ (2005) 恒武西宮遺跡Ⅲ・笠井若林遺跡Ⅱ (2005) 大岡元長窪線関連遺跡Ⅱ
(2005) 藤守遺跡Ⅲ (2005) 発掘物語しずおか (研究所報 No.113・114 (2005) 宮竹野跡遺跡 (2006) 上ノ山遺跡 (2006) 平字遺跡 (2005) 森町門田丘陵の遺跡 (2006) **袋井
市教育委員会**／坂尻遺跡 (序文・古墳時代・奈良時代・平安時代 中世・自然科学編) (1985) 鶴田Ⅱ遺跡(第2次調査) (1999) 掛之上遺跡 (2000) 柿宜古遺跡Ⅰ・Ⅱ (2001~2002) 西野原
遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ (2002) 鶴田Ⅱ遺跡平成14年度発掘調査報告書 (2004)

愛知県

南山大学人類学博物館／南山大学人類学博物館紀要 第23号 (2005) **名古屋大学文学研究科考古学研究室**／名古屋大学文学部研究論集152 考古学抜萃第20集 (2005) (財) **瀬戸市埋蔵文化財セン
ター**／吉野遺跡 (2005) 矢形遺跡 (2005) (財) 瀬戸市埋蔵文化財センター研究紀要 第12輯 (2005)

三重県

亀山市教育委員会／登志遺跡 (2005) **三重県埋蔵文化財センター**／志都三雲村・貝塚遺跡 (1976) 下部遺跡第二次試掘調査概報 木津川河川敷 - (1979) 北福池遺跡発掘調査報告第一分冊
(1980) 丹生川上城跡堀郭内形石組土坑内出土の人骨片について (1984) 第5・13・15回三重県埋蔵文化財展 (1985~1995) 四国山地内遺跡概要 (1987) 高寺・寺家遺跡発掘調査概要 (1988)
赤坂遺跡発掘調査報告書 (1991) 天白遺跡 (現地説明会資料・本文・図版編) (1992~1995) 土井沖遺跡・伝大蓮寺跡・伝法光寺跡 (1992) 勢城山遺跡発掘調査報告 (1994) 三重県埋蔵
文化財センター通信No.6・37 (1992・2004) 三重県文化財地図 (1994) 次郎六郎東遺跡発掘調査報告 (1996) 朱中遺跡・赤中古墳群 (1996) 一般国道475号東海環状自動車道埋蔵文化財発
掘調査概報Ⅱ・Ⅴ・Ⅵ (1996~2000) 一般国道42号松坂・多気バイパス埋蔵文化財発掘調査概報Ⅵ (1996) 一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報Ⅴ・Ⅹ (1996~1997) 窪田大垣内遺
跡 (第2次) 発掘調査報告 (1997) 天花寺丘陵内遺跡群発掘調査報告 (Ⅱ) (1997) 湯後遺跡発掘調査報告 (1997) 森ノ上遺跡発掘調査報告 (1997) 内垣外遺跡発掘調査報告 (1997) 山
崎遺跡発掘調査報告 (1997) 石薬師東古墳群・石薬師東遺跡 (第5・11・12・14次) 発掘調査概報 (1997~2002) ヲノ坪塚遺跡発掘調査報告 (1997) 高茶屋大垣内遺跡 (第2次) 発掘調査報告
(1997) 柳田地区内遺跡群発掘調査報告Ⅱ (1997) 中の坊遺跡 (1997) 曾弥崎遺跡 (第2次)・曾弥崎古墳群 (1997) 門阪遺跡発掘調査報告 (1997) 山添遺跡 (第2次) (1997) 城ノ
越遺跡・鷲ヶ尾古墳群発掘調査報告 (1997) 柳田地区内遺跡群発掘調査報告Ⅱ・奥ノ垣内地区 - (1997) 高ノ御前遺跡発掘調査報告 (1997) 前田町屋遺跡 (第1次) 発掘調査報告 (1997) 東
海道遺跡 (第2次) 発掘調査報告 (1997) 菊見井尻遺跡発掘調査報告 (1997) 第2回三重県文化 三重の新しい文化財の仲間たち展 (1997) 横地高畑遺跡発掘調査報告 (1998) 鯉川西出B
遺跡 (第1次) 発掘調査報告 (1998) 下之川富田 (1998) 中ノ川原遺跡 (第2次) 発掘調査報告 (1998) 道瀬遺跡 (第1次) 発掘調査報告 (1998) 香良州西山遺跡発掘調査概報 (1998) 一
般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報Ⅹ・Ⅺ (1998~1999) 平成9・10・11・12・13・14・15年度三重県埋蔵文化財年報 (1998~2004) 鶴坂第1次調査 (1998) 六地蔵C遺跡・伊
勢路道筋遺跡発掘調査報告 (1998) 上ノ庄北出遺跡発掘調査報告 (1998) コドノA遺跡・コドノB遺跡 (第1・2・3次) 発掘調査報告 (1998~2000) 一般国道23号中勢道路 (6工区) 建設事業
に伴う高井A遺跡発掘調査報告 (1998) 一般国道23号中勢道路 (9工区) 建設事業に伴う六六B遺跡 (A地区) 発掘調査報告 (1999) 緑通庵遺跡・アカリ遺跡発掘調査報告 (1999) 前田町屋遺
跡第2次調査 (1999) 小野江基目遺跡・小野江基目古墳群発掘調査報告 (1999) 宮ノ腰遺跡発掘調査報告Ⅱ (1999) 田村西瀬古遺跡 (1999) 出雲川改修香良州地区事業に伴う香良州西山遺跡
発掘調査報告 (1999) 金剛坂遺跡 (第4次)・辰ノ口古墳群 (第2次) 発掘調査報告 (1999) 大川上遺跡発掘調査報告 (1999) 上梅遺跡発掘調査報告 (1999) 安場氏館跡発掘調査報告 (1999)
馬田遺跡発掘調査報告 (1999) 神戸遺跡発掘調査報告 (1999) 横地西ノ垣内遺跡発掘調査報告 (1999) 鯉川西出B遺跡 (第2次) 発掘調査報告 (1999) 南山ノ奥6号墳発掘調査報告 (1999)
奥ホリ遺跡発掘調査報告 (1999) 一般国道23号中勢道路建設事業に伴う高井田遺跡発掘調査報告 (1999) 琵琶垣内遺跡 (第2次) 発掘調査報告 (1999) 笹遺跡発掘調査報告 (1999) 久七
屋敷遺跡・日向長通り遺跡 (1999) 宮山遺跡発掘調査報告 (1999) 研究紀要第8・9・11号 (1999~2002) 天花寺北瀬古遺跡 (第1・2次)・薬師寺北裏遺跡発掘調査報告 (1999~2001)
一般国道23号中勢道路 (10工区) 建設事業に伴う蔵田遺跡発掘調査報告 (1999) 笹遺跡 (第3次) 発掘調査報告 (1999) 前ヶ谷遺跡発掘調査報告 (2000) 一般国道23号中勢道路 (9工区) 建
設事業に伴う長遺跡発掘調査報告 (2000) 中出向遺跡 (第2次) 発掘調査報告書 (本文編) (2000) 瀬干遺跡 (第2次) 発掘調査報告 (2000) 門ノ上遺跡発掘調査報告 (2000) 北越遺跡
(第1次)・津賀2号墳 (2000) 観音沖遺跡発掘調査報告 (2000) 外山遺跡・片落C遺跡 (2000) 天花寺丘陵内遺跡群発掘調査報告 (Ⅴ) (2000) 佐田遺跡発掘調査報告 (2000) 南遺跡発
掘調査報告 (2000) 古樽通りB遺跡・古樽通り古墳群発掘調査報告 (2000) 国分北遺跡発掘調査報告 (2000) 北越遺跡 (第2次)・津賀古墳群発掘調査報告 (2000) 羽根中島遺跡発掘調査
報告 (2001) 亮ノB遺跡第3次調査 (2001) 蛇谷貝塚発掘調査報告 (2001) 神戸遺跡 (第2次)・替田遺跡 (第3次) 発掘調査報告 (2001) 松尾前田遺跡発掘調査報告 (2001) 金剛坂遺跡
(第5次)・辰ノ口古墳群 (第3次) 発掘調査報告 (2001) 近畿自動車道名古屋関線 (亀山~亀山) 埋蔵文化財発掘調査概報Ⅱ (2001) 一般国道475号東海環状自動車道埋蔵文化財発掘調査概報Ⅶ
(2001) 宮川用水第二期地区埋蔵文化財発掘調査概報Ⅱ・Ⅲ (2001~2002) 一般国道23号中勢道路 (10工区) 建設事業に伴う里前遺跡発掘調査報告 (2002) 亮ノA遺跡・第2次調査 (2002~
2003) 近畿自動車道名古屋関線 (第二名神) 愛知県境~四日市JCT埋蔵文化財発掘調査概報Ⅴ (2002) 中島遺跡 (第2次) 発掘調査報告 (2002) 堀田第3~5次調査 (2002) 川島遺跡群 (第
1・2次) 発掘調査報告 (2002~2004) 神田遺跡・屋瀬B遺跡発掘調査報告 (2002) 山室遺跡発掘調査報告 附長持古里遺跡発掘調査報告 (2002) 惣作遺跡・第2次発掘調査報告 (2002)
野篠里中遺跡発掘調査報告 (2002) 近畿自動車道名古屋関線 (亀山~亀山) 埋蔵文化財発掘調査概報Ⅲ (2002) 粟生城跡 (2002) 真名井神社裏包地発掘調査報告 (2003) 野田塚・野田遺
跡 (2003) 近畿自動車道尾鷲勢和線 (紀勢~勢和間) 埋蔵文化財発掘調査概報Ⅲ (2002) 城堀遺跡発掘調査報告 (2003) 宮山遺跡 (第2次)・大久保城跡 (2003) 覚正垣内遺跡 (2003)
市場遺跡発掘調査報告 (2003) 田面遺跡発掘調査報告 (2003) 山添遺跡 (第3次) 発掘調査報告 (2003) 野添遺跡発掘調査報告 (2003) 六六A遺跡発掘調査報告 - 資料分析・遺物観察表・写
真図版編 - (2003) 丸野・中谷遺跡発掘調査報告 (2003) 城ノ谷遺跡発掘調査報告 (2004) 重地遺跡発掘調査報告 (2004) 高ノ御前遺跡 (第2次) 発掘調査報告 (2004) 筋違遺跡発掘調
査報告第1分冊 (2004) 栗瀬遺跡発掘調査報告 (2004) 伊坂遺跡発掘調査報告 (2004) 辻子遺跡発掘調査報告 (2004) 北門遺跡 (第3次) 発掘調査報告 (2004) 勢和村水銀採掘坑跡群発
掘調査報告 (2004) 東前遺跡発掘調査報告 (2004) 山村遺跡 (第2次) 発掘調査報告 (2004) 河曲の遺跡 (2004) 庄屋田遺跡発掘調査報告 (2004) 茂福城跡・里ノ内遺跡Ⅲ発掘調査報告
(2004) 金剛坂内遺跡発掘調査報告 (2004) 替田遺跡 (第4次) 発掘調査報告 (2004) 私たちと文化財 埋蔵文化財保護のために (2004) 一般国道42号松坂・多気バイパス埋蔵文化財発掘
調査概報Ⅸ (2005) 一般国道23号松阪・中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報17 (2006) 研究紀要第15-1号 特集古墳時代 (2006) おぼたけ遺跡(第5次)発掘調査報告 (2006) 浄土近世墓地区調
査報告 (2006) 岩出遺跡群 (第5・7・8次) 発掘調査報告 (2006) 佐田南浦遺跡 (第2・第3次) 発掘調査報告 (2005) 豊原西町遺跡発掘調査報告 (2006) 戸井口遺跡・スクリ遺跡 (1・2
次) 発掘調査報告 (2005) 庵瀬川中流域の考古資料研究紀要第15-3号 (2006)

滋賀県

能登川町教育委員会／石田遺跡 (遺物・遺構・図版編) (2005) 殿瀬遺跡 (2次・確認)・石田遺跡 (18・20次)・斗西遺跡 (18次)・中沢遺跡 (確認) (2005)

京都府

同志社大学歴史資料館／学生会館・寒梅館地点発掘調査報告書 - 室町殿と近世西立売町の調査 - (2005) 同志社大学校内遺跡発掘調査報告書2004年度 (2005) 同志社大学歴史資料館館報第8号
(2005) (財) **京都府埋蔵文化財調査研究センター**／京都府埋蔵文化財情報第95・96・97・98号 (2005) **加悦町教育委員会**／加悦町歴史討論会 丹後最古の玉葬「日ヶ丘墳墓」出現の謎に迫る
(2004) 駒田遺跡・金屋遺跡 (1998) 明石大師山古墳群・赤石城跡 (2004) 日ヶ丘遺跡 (2005) **城陽市教育委員会**／城陽市埋蔵文化財調査報告書第50集 (2005) **京都大学大学院文学
研究科考古学研究室**／紫金山古墳の研究 (2005)

大阪府

豊中市教育委員会／豊中市埋蔵文化財発掘調査概要 平成16年度 (2005) **高槻市教育委員会**／崎上遺跡群29 (2005) 史跡・今城塚古墳第7・8次確認調査 (2005) **大谷女子大学博物館**／牛頭・本
堂Ⅲ 第5次発掘調査報告書 (2005) **大谷女子大学文化財学科**／大谷女子大学文化財研究第5号 (2005) 志学台考古第4号 - 年代・産地・分析等 - (2004) **大阪府教育委員会**／大阪府教育委員会
文化財調査事務所年報7・8・9 (2004~2005) 陶邑・窯・須恵器 国重要文化財指定記念 (2005) **解放社出版**／部著史ゆかりの地 (2005)

奈良県

奈良文化財研究所埋蔵文化財センター／遺跡情報交換標準の研究 (2005) 埋蔵文化財ニュース118・119・120・121 (2004~2005) (財) **元興寺文化財研究所**／元興寺文化財研究No.86 (2005)
河合町教育委員会／築井瀬ノ北遺跡・舟戸・西岡遺跡 (2005) **帝塚山大学考古学研究所**／帝塚山大学考古学研究所研究報告1~Ⅷ (1998~2005) シンポジウム報告書「推古朝の四十六か寺をめぐ
って」[造瓦体制の変革 - 東日本 -] (2004~2005) **奈良県立橿原考古学研究所**／青陵第114・115・116・117号 (2005) 小泉堂遺跡 (2005) 宮ノ平遺跡Ⅲ (本文・写真図版) (2005)
曲川遺跡 (2005) 芝遺跡 (2005) 乙木・佐保庄遺跡 (2005) ホラント遺跡 (2005) 庵治遺跡 (2005) 橿原考古学研究所紀要 考古学論叢28冊 (2005) 橿原考古学研究所年報31
(2005) 鏡範研究Ⅱ・Ⅲ (2005) 陵墓等関係文書目録 - 末永雅雄先生旧蔵資料集第1集 - (2005) 大和の終末期古墳 (2004)

和歌山県

(財) **和歌山市文化体育振興事業団**／秋月遺跡 第9次発掘調査概報 (2004) 田屋遺跡 発掘調査概報 (2005) 和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報8 (2004) 太田・黒田遺跡第55次発掘調査概報
(2005) 井辺遺跡第6・7次発掘調査概報 (2005~2006) 和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報9 (2006)

鳥取県

倉吉市教育委員会／倉吉市内遺跡分布調査報告書13 (2005) 大境遺跡発掘調査報告書 (2005) **米子市教育委員会 (淀江町)**／小波上遺跡 (1998) 上淀庵寺跡Ⅳ (2004) 史跡 向山古墳群「若
屋古墳」 (2004) 上淀庵寺跡Ⅴ (2004)

島根県

斐川町教育委員会／上阿宮Ⅰ遺跡・上阿宮Ⅲ遺跡発掘調査報告書(2005) 島根県教育庁埋蔵文化財調査センター／史跡出雲国府跡3(2005) 中野清水遺跡(2)本文・写真図版編(2005) 北原本郷遺跡Ⅰ(2005) 前田遺跡(2)・下布施氏館跡・原田遺跡Ⅰ区(分析編)(2005) 山持遺跡Vol1(2005) 宮ノ脇遺跡・家の後Ⅱ遺跡Ⅰ(2005) 五反配遺跡(平成16年度調査)(2005) 畑ノ前・菅原Ⅰ・クボ山・菅原Ⅱ・菅原Ⅲ・廻田Ⅰ・保知石・浅柄Ⅱ・柳ノ内Ⅰ遺跡(2005) 崎々鼻洞窟遺跡(2005) 島根県教育庁埋蔵文化財調査センター年報13(2005) 古代文化の郷出雲-史跡 出雲国府跡-(2005) 川津バイパス発掘だより-川津バイパス発掘調査速報No.2(2005) オロチのいぶき(2005) 出雲市教育委員会／寿昌寺遺跡・築山遺跡発掘調査報告書(2004) 小山遺跡第3地点発掘調査報告書(第5次発掘調査)(2004) 出雲市埋蔵文化財発掘調査報告書第15集(2005) 浜井場古墳群発掘調査報告書(2005) 四路地区遺跡発掘調査報告書(1992) 出雲市の文化財「古墳と城跡」(1981) 出雲市埋蔵文化財調査報告書第3・4・11集(1992~2001) 出雲市民俗資料所蔵目録 下巻(住・生産業ほか)(2002) 下志遺跡-考察-(2002) 高岡遺跡(2000) 三田谷Ⅰ遺跡(2000) 出雲市斐伊川放水路発掘調査概報2出雲市歴史博物館(2001) 田畑遺跡(2000) 出雲市教育委員会(平田市)／南灘古墳群(1989) 源代遺跡Ⅰ(1993) 金山地区県営土地改良総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(2004) 平田市の遺跡Ⅰ・Ⅱ(2001) 中村1号墳(2004) 室ノ原城(2000) 上石堂平古墳群(2001) (財)松江市教育文化振興事業団／(財)松江市教育文化振興事業団埋蔵文化財課年報Ⅷ・Ⅸ(2005) しまねミュージアム協議会／しまねミュージアムガイドブック「77の謎に挑戦」(2004)

岡山県

倉敷埋蔵文化財センター／日畑寺(2005) 倉敷市埋蔵文化財センター年報10(2006) 岡山県古代吉備文化財センター／川入遺跡(2004) 塩納成遺跡(2005) 伊福定国前遺跡2(2005) 長縄手遺跡(2005) 津島遺跡6(2005) 土井遺跡・谷の前遺跡・慶運寺跡(2005) 久田堀ノ内遺跡(第1・2・3分冊)(2005) 杉正宗遺跡・箱B遺跡・かなばねB遺跡・丸ヶ丸遺跡・勝の段遺跡・下黒木遺跡・久田神社古墳・城跡城跡北散布地(2005) 夏栗遺跡(第1・2・3分冊)(2005) 所報吉備第38号(2005) よみがえる久田の歴史(2004) 発掘-高島のむかし-(2005) 持坂20号古墳(2005) 津山市教育委員会／林田池ノ内遺跡(2005) 津山弥生の里 第12号年報(2005) 津山美術園分寺後保存整備基本構想(2005) 津山市教育委員会(久米町教育委員会)／曾根田遺跡・半太遺跡・稗田遺跡・久保田遺跡(2005) 総社市教育委員会／古代山城 鬼ノ城(2005) 総社市埋蔵文化財調査年報14(2005) 岡山市埋蔵文化財センター年報4(2005) 赤田東遺跡(2005) 「赤田東遺跡」差し替え用の図面集(2005) 史跡貴田庵寺跡(2005) 南方(済生会)遺跡-木器編-(2005) 岡山市埋蔵文化財センター(御津町教育委員会)／上伊田遺跡(2005) 岡山理科大学人類学研究室／旭川を科学する シリーズ「岡山学」3(2005) 7回「岡山学」シンポジウム旭川(2005)

広島県

広島大学文学研究科考古学研究室／帝釈峠遺跡群発掘調査年報ⅩⅧ・ⅩⅨ(2004~2005) 金田石谷製鉄遺跡(2005)

山口県

防府市教育委員会／平成14年度 防府市内遺跡発掘調査概要(2004) 岩瀬古墳(2004) 山口県埋蔵文化財センター／傍示古墳群(2005) 井ノ山遺跡(2005) 銭屋遺跡Ⅱ(2005) 陶けん第18号(2005) 下関市立考古博物館／研究紀要第9号(2005) 下関市立考古博物館年報10(2005) 平成17年度開館10周年記念展(2005) あやらぎNo.14(2005) 山口市教育委員会／山口市埋蔵文化財年報4(2005) 若宮滝内遺跡Ⅰ・Ⅱ(2005) 乗福寺跡Ⅲ(2004) 興隆寺跡遺跡Ⅲ(2005) 下関市教育委員会／長門国府跡(2005)

香川県

丸亀市教育委員会／田村遺跡発掘調査報告書(2002)

愛媛県

(財)松山市生涯学習振興財団 松山市文化財センター／上菊屋遺跡第3・4次調査(2005) 松山市埋蔵文化財調査年報16(2004) 宮前川流域の遺跡-本文編-(2005) 古市遺跡(2次調査)五楽遺跡(1・3次調査)(2005) 東本遺跡6次調査地・桑原遺跡2・4次調査地(2005) 愛媛大学埋蔵文化財調査室／愛媛大学埋蔵文化財調査室年報2003年度(2005) 文京遺跡(2005) 松野町教育委員会／国指定史跡 河後森城跡環境整備事業概要報告書Ⅳ(2005)

高知県

土佐山田町教育委員会／久次遺跡カリヤガノ地区(2005) 久次遺跡林田地区(2004) 須江上段遺跡松ノ本地区(2004) 大塚遺跡Ⅱ(2004) ひびのき岡ノ神母遺跡(2004) 高知大学人文科学部考古学研究室／朝倉古墳測量調査報告書(2005) 高知市教育委員会／秦桑寺跡寺(第6次調査)(2004) 神田ムク入道遺跡(2005) 四万十市教育委員会／古津賀遺跡群(2006) 香北町教育委員会／刈谷我野遺跡Ⅰ(2005) 仁井田遺跡(2006)

福岡県

筑穂町教育委員会／内野地区遺跡群2(2005) 九州大学大学院人文科学研究所考古学研究室／平成16年度九州大学総合研究博物館公開展示(2004) 小値賀島遺跡群の調査-縄文時代・中世遺跡の発掘調査-(2005) 弥生時代成立期における渡来人問題の考古学的研究(2005) 久留米市教育委員会／日渡遺跡群Ⅲ-日渡遺跡第3・4次調査-(2004) 久留米城下町遺跡第16次調査(魚屋町)(2004) 久留米市埋蔵文化財調査集Ⅶ(2005) 筑後国府跡第198次発掘調査報告(2005) 福聚寺古墳群(2005) 市ノ上東屋敷遺跡発掘調査概要報告書(2005) 二本木遺跡群Ⅱ-神道遺跡第21次調査-(2005) 筑後国府跡国分寺跡(2005) 平成16年度久留米市内遺跡群(2005) 筑後三瀬部郡跡Ⅱ-道蔵遺跡第15・16次調査-(2005) 久留米市埋蔵文化財年報Vol.1平成12・13年度版(2004) 久留米市教育委員会(三瀬町教育委員会)／ヘキ遺跡(1989) 西牟田郷野遺跡(1997) 田川大野遺跡(1997) 玉蔵松ノノ遺跡(1999) 西牟田清導寺遺跡(2001) 三瀬町の絵馬・狛犬(2000) 久留米市教育委員会(田主丸町教育委員会)／千代久遺跡Ⅰ・Ⅱ(1993~1994) 殖木地区遺跡群A地点・B地点 鷹取一条遺跡(1996) 船越一ノ上遺跡(1997) 船越宮ノ前遺跡Ⅰ・Ⅱ(1998) 豊城中ツプロ遺跡(1998) 田主丸町遺跡等詳細分冊調査報告書(2000) 船越高原遺跡(2000) 西郷天神免遺跡(2000) 益生田古墳群Ⅰ-D群Ⅰ号墳の調査-2(2001) 鷹取跡遺跡(2001) 善院古墳群-善院古墳群Ⅱ(2002~2003) 石垣高尾遺跡(2003) 清長橋古墳群(2003) 殖木平田遺跡(2004) 中原塚古墳(2004) 西館古墳(1996) 隈3号墳(2002) 久留米市教育委員会(北野町教育委員会)／良楨遺跡Ⅰ・Ⅳ(1996) 大城小學校校庭遺跡(2002) 金島馬場遺跡(2003) 大城中筒井遺跡(2003) 仁王丸古墳(2004) 古賀ノ上遺跡3・4(2004) 久留米市埋蔵文化財センター／まいふん久留米第4号(2005) 筑後国府遺跡Vol.1(2004) 第29回くめの考古資料展-わたしの縄文ライフ-(2004) 春日市教育委員会／ウチグチ遺跡B地点(2004) 須玖永田A遺跡2-4次調査-(2005) 須玖タカタ遺跡2-2次調査-(2005) 野藤遺跡2-3次調査-(2005) 春日市埋蔵文化財年報12(2005) 小郡市教育委員会／寺福童遺跡3(2005) 薩摩街道筑後国境石・2(2005) 力武町口遺跡(2005) 力武前畑遺跡3(2005) 福童町遺跡(2005) 小郡正尻遺跡4(2005) 小坂井京塚遺跡3(2005) 寺福童遺跡4 発掘調査概報(2006) 三沢北中尾遺跡10A地点(2006) あるいてみよう ふるさと小郡の文化財(2006) 平成17年度企画展 黄泉への入り口(2006) (財)北九州市芸術文化振興財団埋蔵文化財調査室／高見遺跡(2005) 杵網原遺跡第2地点(2005) 中貫ミカシキ遺跡2・3(2005) 猪の谷遺跡(2005) 真光寺遺跡Ⅰ区(2005) 宇土遺跡・杵網城跡(2005) 室町遺跡第7・8地点(2005) 冷水遺跡第3次・峠遺跡第3次・長野フアンテ遺跡(6D・6E区)(2005) 上清水遺跡Ⅲ区(2005) 黒崎城跡Ⅰ(2005) 能行遺跡第2地点(2005) 加治原敷遺跡2(Ⅰ区)の調査(2005) 開善寺跡(2005) 熊西遺跡(2005) 小倉城跡跡跡・新馬場跡(2005) 研究紀要第19号(2005) 埋蔵文化財調査年報21(2005) 前原市教育委員会／鉢塚古墳(2005) ワレ塚古墳(2005) 潤地頭給遺跡(2005) 邪馬台国の時代「伊都国」(2004) 邪馬台国の時代「伊都国」(2005) 那珂川町教育委員会／カクチガ浦遺跡Ⅳ(2005) 裏田溝(2005) 山田西遺跡群Ⅳ(2005) 九州大学総合研究博物館／九州大学総合研究博物館研究報告第3号(2005) 九州大学総合研究博物館ニュースNo.5(2005) 自然界のなまたち 九州大学所蔵標本・資料展Ⅰ(2005) 太刀洗町教育委員会／富多若草遺跡Ⅳ(2004) 本郷塚3号墳・本郷野開遺跡Ⅵ(2005) 高橋小遺跡Ⅲ・Ⅳ(2005) 史跡下高橋官街遺跡周辺遺跡2(下高橋馬屋元遺跡8次・9次調査)(2005) 上高橋内畑の一遺跡(2005) 九州歴史資料館／九州歴史資料館年報 平成16年度(2005) 九州歴史資料館研究論集30(2005) 福岡県教育委員会／日語遺跡Ⅱ(2005) 東浦池堰町遺跡(2005) 海津横馬場遺跡Ⅰ(2005) 西新町遺跡Ⅵ(2005) 福岡県埋蔵文化財発掘調査年報 平成15年度(2005) 堂畑遺跡Ⅲ(上・下巻)(2005) 太宰府市教育委員会／大宰府条跡跡23・26・27・28・29(2004~2005) 太宰府・吉松地区遺跡群Ⅱ(2005) 佐野地区遺跡群19・20(2005) 宝満山遺跡群4(2005) 行橋市教育委員会／福童古墳群(2005) うきは市教育委員会(浮羽町教育委員会)／北淀遺跡(1992) 田島南遺跡(1998) 沖出梅木遺跡(1999) 宇土遺跡第2地点(2000) 宇土遺跡(2002) 柳瀬遺跡(上層・下層編)(2003~2004) 西田遺跡(2005) うきは市教育委員会(吉井町教育委員会)／富永正地遺跡(遺物編)(2003) 若宮古墳群Ⅲ(2005) 若宮遺跡(2005) 大野城市教育委員会／大野城市の文化財第37集 大野城市の民俗⑥(2005) 御笠の森遺跡Ⅱ 第9次調査(2)(2005) 牛頭野添遺跡Ⅱ(2005) ヒケシマ遺跡(2005) 牛頭本堂遺跡群Ⅱ 第5次調査(第2冊)(2005) 筑紫野市教育委員会／貝本遺跡2(2005) 国境石確認調査(2005) 下見橋橋台確認調査(2005) 太宰府条跡跡 第155次発掘調査(2005) 道徳遺跡(2005) トドキ遺跡Ⅲ(2005) 竹敷遺跡 第2次発掘調査(2005) 福岡大学考古学研究室／森貞次郎先生寄贈資料目録Ⅰ(2005) 福岡市教育委員会／兜塚古墳2(2005) 井尻B遺跡14(2005) 今山遺跡第8次調査(2005) 浦田部木原7次調査報告(2005) 久保園遺跡第3次調査報告(2005) 洞窟館跡ⅤⅤ(2005) 下月隈C遺跡Ⅴ(本文・図版編)(2005) 次郎丸高石2(2005) 那珂37・38・39・40(2005) 長巻大谷遺跡(2005) 西新町遺跡8(2005) 博多101・102・103・104・105(2005) 箱崎22・23・24(2005) 比恵38・39・40・41(2005) 麦野A4(2005) 元岡・桑原遺跡第4・5(2005) 浦江古墳群1号墳(2005) 浦江遺跡第5次調査2(2005) 吉武遺跡群ⅩⅦ(2005) 広瀬遺跡Ⅰ(2005) 金武2(2005) 中南部8(2005) 雑瀬限遺跡5-第14・15次調査報告-(2005) 福岡市埋蔵文化財年報Vol.18(2005) 元岡・桑原遺跡群発掘調査パンフレット(2005) 福岡市埋蔵文化財センター年報第24号(2005) 犀川町教育委員会／古川平原古墳群(1997) 山鹿宮田遺跡-本庄鎌手遺跡(2005) 犀川町内遺跡等分佈地図(2003) 筑前町教育委員会(夜須町教育委員会)／宮ノ前遺跡B(上・中・下巻)(2004~2005) 筑前島遺跡(2006) 北九州市教育委員会／潤崎遺跡第9地点(2005) 高島遺跡第2次調査(2005) 宗像市教育委員会／むかたの文化財 平成15年度文化財保護事業(2005)

佐賀県

富士町教育委員会／畑瀬城跡(2005) 神埼町教育委員会／日の尺池古墳群(2004) 的遺跡(2005) 塚原一の角遺跡(1990) 花東古墳群(1990) 吉野ヶ里遺跡(1990) 船塚遺跡Ⅱ(1990) 姉川城跡(1990) 本堀地遺跡Ⅲ区(1991) 佐賀県教育委員会／吉野ヶ里遺跡(2005) となりの車弥呼(吉野ヶ里遺跡広報誌第11号)(2005) 鳥栖市教育委員会／天神木遺跡・葦原遺跡(2005) 津津霞堤(2005) ハツ並金丸遺跡(2005) 本原遺跡(1988) 一の坪遺跡(1990) 元古賀遺跡Ⅱ(1992) 牛原原田遺跡(1994) 忍楽遺跡(1995) 柳の元遺跡(1996)